



(青字)の医薬品名は先発品の名称です。

用法・用量欄の注釈

[用][適]…添付文書に記載されている用法・用量です。当院における適応を中心に記載しています。

[禁]…投与が禁忌となる患者状態、併用禁忌薬を示しています。

[副]…重篤な副作用、頻度の高い副作用を中心に注意すべきもの、代表的なものについて記載しています。

[特]…薬剤の特長(薬剤系統・利点・使い分け)をコメントしています。

[注]…使用上の注意点で特に覚えておきたい事項について記載しています。

[相]…併用薬における薬物相互作用について記載しています。

【解説】 CYP→薬物代謝酵素(薬物を分解する酵素)

同じCYP種が関わる薬剤同士を併用した場合、互いの薬効が強められたりする可能性がある事を意味します

ハイリスク群 …薬剤管理指向上(380点算定)のハイリスク薬群に該当する薬剤です。

第2選択 …高薬価かつ同効代替薬のある薬剤。()の上が第1選択となっています。

内 服

1-1・催眠鎮静剤	1P	31・副腎ホルモン剤	5P
1-2・抗不安剤	1P	32・痔疾用剤	5P
2・抗てんかん剤	1P	33・その他の泌尿生殖器および肛門用薬	6P
3・解熱鎮痛消炎剤	1P	34・ビタミンA及びD剤(骨粗鬆症治療薬)	6P
4・抗パーキンソン剤	1P	35・ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)	6P
5-1・精神神経用剤(抗精神病薬)	2P	37・無機質製剤	6P
5-2・精神神経用剤(抗うつ薬)	2P	38・止血剤	6P
5-3・精神神経用剤(抗不安薬・その他)	2P	39・血液凝固阻止剤	6P
6・総合感冒剤	2P	40・その他の血液・体液用薬(抗血小板薬)	6P
7・その他の中枢神経系用薬	2P	41・解毒剤	6P
8・局所麻酔剤	2P	42・痛風治療剤	6P
9・骨格筋弛緩剤	2P	43・糖尿病用剤	7P
10・鎮痙剤	2P	44・他に分類されない代謝性医薬品	7P
11・鎮量剤	2P	45・その他の腫瘍用薬	7P
12・強心剤	3P	46・抗ヒスタミン剤	7P
13・不整脈用剤	3P	47・その他のアレルギー用薬	7P
14・利尿剤	3P	48・主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤(ペニシリン、セフェム)	7P
15・血圧降下剤	3P	49・主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生剤(マクロ)	7P
16・脂質異常症用剤	4P	50・合成抗菌剤(ニューキノロン系)	7P
17-1・血管拡張剤(降圧剤)	3P	51・抗ウイルス剤	8P
17-2・血管拡張剤(狭心症・その他)	4P	52-1・その他の化学療法剤(抗生剤)	7P
18・その他の循環器官用薬	4P	52-2・その他の化学療法剤(抗真菌薬・水虫薬)	8P
19・鎮咳剤	4P	53・X線造影剤	8P
20・去痰剤	4P	54・その他の診断用薬(体外診断用医薬品を除く)	8P
22・気管支拡張剤	4P	55・他に分類されない治療を主目的としない医薬品	8P
23・止瀉剤、整腸剤	4P	56・あへんアルカロイド系麻薬	8P
24・消化性潰瘍用剤	5P	57・漢方製剤	8P
26・制酸剤	5P	58・経腸栄養剤	8P
27・下痢、浣腸剤	5P		
28・利胆剤	5P		
29・その他の消化器官用剤	5P		
30・甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	5P		

注 射

1・催眠鎮静剤、抗不安剤	9P
2・抗てんかん剤	9P
3・解熱鎮痛消炎剤	9P
4・精神神経用剤	9P
5・局所麻酔剤	9P
6・骨格筋弛緩剤	9P
7・鎮痙剤(抗コリン薬)	9P
8-1・血管拡張剤	9P
8-2・強心剤(ジギタリス系)	9P
8-3・強心剤(昇圧剤)	10P
9・不整脈用剤	9P
10・利尿剤	10P
11・その他の循環器官用薬	10P
12・呼吸促進剤(薬拮拮抗薬)	10P
13・鎮咳剤	10P
14・去痰剤	10P
15・気管支拡張剤	10P
16・消化性潰瘍用剤	10P
17・その他の消化器官用薬	10P
18・脳下垂体ホルモン剤	11P
19-1・副腎ホルモン剤(昇圧、交換神経薬)	10P
19-2・副腎ホルモン剤(ステロイド)	11P
20-1・インスリン製剤	11P
20-2・その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	11P
21・ビタミン剤	11P
22・混合ビタミン剤	11P
23・カルシウム剤	11P
24・無機質製剤	11P
25・糖類剤	11P
26・たんぱく質アミノ酸製剤(PPN、TPN)	12P
27・血液代用剤(輸液・電解質)	12P
28・止血剤	12P
29・血液凝固阻止剤	12P
30・人工腎臓透析用剤	12P
31・肝臓疾患用剤	13P
32・解毒剤	13P
33・他に分類されない代謝性医薬品	13P
34・抗ヒスタミン剤	13P
35・主としてグラム陽性菌に作用する抗生剤(バンコマイシン、リソマイ)	14P
36・主としてグラム陰性菌に作用する抗生剤(アミノグリコシド系)	13P
37・主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤(β ラクタム、カルバペネム系)	13P
38・主としてグラム陽性・陰性菌・リケッチア・クラミジアに作用(ミノマイシン系)	14P
39・合成抗菌剤(ニューキノロン系)	14P
40・主としてカビに作用するもの	14P
41・抗ウイルス剤	14P
42・ワクチン類	14P
43・その他の生物学的製剤	14P
44・溶解剤	14P
45・X線造影剤	14P
46・機能検査用試薬	14P
47-1・あへんアルカロイド系麻薬	14P
47-2・あへんアルカロイド系非麻薬	14P
48・その他の滋養強壮薬(脂肪乳剤)	12P

外 用

1・催眠鎮静剤・抗不安剤	15P
2・解熱鎮痛消炎剤	15P
3・局所麻酔剤	15P
4・眼科用剤	15P
5・耳鼻科用剤	15P
6・血圧降下剤	15P
7・血管拡張剤	15P
8・去痰剤	15P
9・気管支拡張剤	16P
10・含嗽剤	15P
11・その他の呼吸器官用薬	16P
12・下痢、浣腸剤	16P
13・その他の消化器官用薬	16P
14・生殖器官用剤(性病予防剤を含む)	16P
15・痔疾用剤	16P
16・外皮用殺菌消毒剤	16P
17・化膿性疾患用剤	16P
18・鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	17P
19・寄生性皮膚疾患用剤	16P
20・皮ふ軟化剤(腐蝕剤を含む)	17P
21・その他の外皮用薬	17P
22・止血剤	17P
23・抗ウイルス剤	17P
24・軟膏基剤	16P
25・あへんアルカロイド系麻薬	17P

1-1・催眠鎮静剤		
＜共通＞抗コリン作用があるため、 [禁] 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [副] 便秘・尿閉・口渇		
ゾルピデム錠 5mg (マイスリー錠) 10.1	超短時間型睡眠薬(非BZ) [適]不眠症(入眠障害)	[用]1回5～10mg [相]CYP3A等で代謝 [禁] 重篤肝障害、呼吸機能高度低下 [副] 眠気、ふらつき、健忘、肝障害 [注] 統合失調症・躁うつ病には適応なし
プロチゾラムOD錠 0.25mg (レンドルミン錠) 10.1	短時間型睡眠薬 [適]不眠症(入眠障害)	[用]1回0.25mg [相]CYP3A4で代謝 [禁] 呼吸機能が高度低下している患者(呼吸抑制の可能性)
フルニトラゼパム錠 1mg (サイレース錠、ロヒプノール錠) 5.7	中時間型睡眠薬 [適]不眠症(熟眠障害・中途覚醒)	[用]1回0.5～2mg(高齢者は1mgまで) [禁] プロチゾラムと同じ
1-2・抗不安剤 ⇒5-3・精神神経用剤(抗不安薬)も参照		
＜共通＞抗コリン作用があるため、 [禁] 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [副] 便秘・尿閉・口渇		
セルシン錠 2mg 6	長時間型抗不安薬 [適]抗不安、筋緊張緩和、抗痙攣	[用]不安:1回2～5mgを1日2～4回、筋緊張:1回2～10mgを1日3～4回。 [特] 長時間・中力価型抗不安薬
2・抗てんかん剤 ハイリスク群		
アレピアチン錠 100mg (一般名:フェニトイン) 12.9	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]1回60～100mgを1日3回 [注] 血中濃度測定行う [相]CYP3A,2B誘導、2Cで代謝 [副] 中毒(眼振、構音障害、運動失調)、造血器障害、肝障害 [特] いわゆる大発作に対して用いられる
ゾニサミド錠 100mg (エクセグラン) 11.7	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]1回100mgを1日1～3回(最大600mg) [注] 血中濃度測定 [相]CYP3Aで代謝 [副] 発汗減少、横紋筋融解、尿路結石、造血器障害 [特] 大発作、部分・全般発作に有効。少量でパーキンソン病にも用いられる。
カルバマゼピン錠 100mg (テグレートール) 5.7	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)、躁・興奮状態	[用]1回100～200mgを1日1～2回、維持量1日600mgに(最大1200mg) [注] 血中濃度測定 [副] 肝障害、皮膚症状、骨髄抑制、SIADH(低Na) [相]CYP誘導あり [特] 部分発作の第1選択薬。躁や統合失調症の興奮状態、三叉神経痛にも効果。
バルプロ酸Na細粒20% (デパケン) 18.1	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作・小発作)、躁病 [分] 包品1包1g=200mg、バラも有	[用]1回200～400mgを1日2～3回。 [注] 血中濃度測定。 [禁] メロペネム(デパケンの作用が減弱する)、重篤な肝機能障害 [副] 肝障害、眠気 [特] 各種のてんかんに広く効果あり。躁病の興奮状態、片頭痛の発作抑制にも使用。
リボトリール錠 0.5mg (一般名:クロナゼパム) 9.3	抗てんかん薬 [適]痙攣(ミオクローヌス、精神運動)	[用]初回:1回0.5mgを1日1～3回、維持量:1日2mgを1日1～3回 [注] 血中濃度測定 [禁] 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [副] 眠気・ふらつき、肝障害
3・解熱鎮痛消炎剤		
カロナール錠 300mg 7	解熱鎮痛薬 アセトアミノフェン [適]各種疼痛、発熱	[用]①各種疼痛:1回300～1000mgを1日3～4回、②頓用:1回300～500mgを2回迄(1日最高1500mg) [禁] 重篤な肝障害 [副] 肝障害、アナフィラキシー、喘息発作、造血器障害、間質性肺炎 [特] 鎮痛作用は弱いが高安全性高い。腎機能に対する影響少ない。高用量で癌性疼痛にも使用
ロキソプロフェン錠 60mg (ロキソニン錠) 9.8	解熱鎮痛薬 NSAIDs [適]各種疼痛、発熱	[用]①関節リウマチ等:1回60mgを1日3回、②疼痛:1回60mgを頓用(1日2回180mgまで) [禁] 消化性潰瘍、重篤な血液異常・肝・腎障害 [副] 消化管出血、肝・腎・造血器障害 [相]ワルファリン、SU剤、ニューキノロン系、チアジド利尿剤等と併用注意
ノイロトロピン錠 4単位 28.5	その他の疼痛治療薬 [適]帯状疱疹後神経痛、腰痛	[用]1回2錠を1日2回 [副] 肝障害 [注] 簡易懸濁・粉碎不可 [特] ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液で下行性疼痛抑制賦活作用を有する
トアラセット配合錠 (トラムセット配合錠) 7.9	トラマドール&アセトアミノフェン [適]非がん性慢性疼痛、抜歯後	[用]1回1錠を1日4回、抜歯後疼痛は1回2錠(投与間隔は4h以上空ける、1日8錠まで)。 [禁] [副] 消化器潰瘍、重篤な血液異常、肝・腎障害、アスピリン喘息 [副] 便秘、嘔気、意識消失、呼吸抑制、痙攣 [特] 弱オピオイド鎮痛薬(非麻薬)のトラマドール37.5mg+アセトアミノフェン325mgを配合。[相]CYP2D6,3A4代謝
4・抗パーキンソン剤		
＜共通＞ドパミン遮断作用のある薬は、 [副] 幻覚、錯乱、せん妄等が現れることがある→症状見ながら徐々に増量。中止時の悪性症候群にも注意。		
マドパー配合錠 (=ネオドパゾール錠) 18.5	ドパミン類縁薬 [適]パーキンソン病	[用]初回1回1錠を、維持量は1日1～2錠を1日1～3回 [禁] 閉塞隅角緑内障 [副] 悪性症候群、幻覚、胃腸症状、on-off,waring off現象 [特] パーキンソン病で脳内に減少したドパミンを補充する。ドパミン分解阻害酵素剤との配合剤
トリヘキシフェニジル塩酸塩錠 2mg (アーテン錠) 8.8	中枢性抗コリン薬 [適]パーキンソン病	[用]1日目1mg、2日目2mg、以後2mg/日ずつ増量、1日量6～10mgを維持量。1日3～4回 [副] 緑内障、重症筋無力症、抗コリン作用(口渇・便秘・排尿障害) [特] 軽度の症状、抗精神病薬の副作用対策に用いられることが多い
ドブスOD錠 100mg 36	ノルアドレナリン神経作用薬 [適]パーキンソン病(すくみ足)	[用]初回1日100mg、維持量1回200mgを1日3回(最高900mg)。透析では1回最大400mg。 [禁] 閉塞隅角緑内障、心室性頻拍 [副] 悪性症候群、造血器障害、消化器症状、肝障害 [特] すくみ足、起立性低血圧(昇圧効果がある)、透析時の昇圧に用いられる

5-1 ・精神神経用剤(抗精神病薬)		ハイリスク群
リスペリドン錠 1mg (リスパダール錠)	第2世代抗精神病薬 [適]統合失調症	[用]1日1mgを1日2回から開始→1回1~3mgを1日2回(最大12mg) [注]腎排泄 [禁]ボスミン(逆に血圧が低下する) [副]悪性症候群、高血糖、体重増、パーキンソン症候群 [特]第1世代に比べ副作用が少なく、陽性症状にも効果を示す [相]CYP2D6,3A4で代謝
10.1		
リスペリドン内用液 0.5mg/包 (リスパダール内用液)		
15.5		
クエチアピン錠 25mg (セロクエル錠)	第2世代抗精神病薬 [適]統合失調症	[用]1回25mg1日2~3回から開始→1日150~600mg(最大750mg) [相]CYP3A4で代謝 [禁]糖尿病、ボスミン [副]悪性症候群、錐体外路、高・低血糖、体重増加、肝障害、塞栓 [特]陰性症状への効果に優れ、抗うつ作用のエビデンスもあり。催眠効果も期待できる
10.1		
ハロペリドール錠 0.75mg (セレネース錠)	第1世代抗精神病薬 [適]統合失調症	[用]1日0.75~2.25mgから開始→1日3~6mg [注]血中濃度測定 [相]CYP2D6,3A4で代謝 [禁]重症心不全、パーキンソン病、ボスミン(逆に血圧低下する)
6		
コントミン錠 25mg	第1世代抗精神病薬 [適]統合失調症	[用]1日30~100mgを分服 [禁]ボスミン(逆に血圧低下する) [副]悪性症候群、心室頻拍、造血管障害、抗コリン作用、体重増
9.4		
ノバミン錠 5mg	第1世代抗精神病薬 [適]嘔気、統合失調症	[用]1日5~20mg(精神科15~45mg) [禁]ボスミン(逆に血圧低下する) [副]悪性症候群、造血管障害 [特]麻薬投与時の悪心・嘔吐の予防によく用いられる(中枢性抗ドパミン作用)
9.8		
5-2 ・精神神経用剤(抗うつ薬)		ハイリスク群
フルボキサミン錠 25mg (ルボックス錠)	SSRI抗うつ薬 [適]うつ病	[用]1回25mg→75mgまで増量、1日2回 [副]せん妄、幻覚、セロトン症候群、悪性症候群、造血管障害、肝障害、嘔気、口渇 [特]SSRIは安全性と有効性のバランスが良く第1選択とされている。
10.1		
ミルタザピン錠 15mg (レメロン錠)	NaSSA抗うつ薬 [適]うつ病	[用]1日1回就寝前15mg→15~30mg(最大45mg) [副]セロトン症候群、造血管障害、肝障害、食欲亢進、体重増 [相]CYP1A2,2D6,3A4代謝 [特]ノルアドレナリン・セロトン選択的取り込み作用。効果発現早く持続的。眠気有り。
17.9		
5-3 ・精神神経用剤(抗不安薬・その他)		ハイリスク群 ⇒1-2・抗不安剤も参照
エチゾラム錠 0.5mg (デパス錠)	短時間型抗不安薬 [適]神経症、不眠症、筋緊張	[用]神経症・心身症1回0.5mgを1日3回、不眠症:1回1.5mgまで(高齢者) [禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [相]CYP2C9,3A4 [特]短時間・高力価型抗不安薬
6.4		
リーゼ錠 5mg	短時間型抗不安薬 [適]神経症、心身症	[用]心身症:1回5~10mgを1日3回 [禁]エチゾラムと同じ [特]短時間・低力価型抗不安薬
6.4		
アタラックス-Pカプセル 25mg	抗アレルギー性精神緩和剤 [適]不安、緊張、蕁麻疹、掻痒	[用]皮膚科:1回25mgを1日2~3回、精神科:1回25mgを1日3~4回 [副]眠気 [相]CYP3Aで代謝
5.9		
6 ・総合感冒剤		
PL配合顆粒 1g/包	総合感冒薬 [適]解熱、鎮咳、鼻水	[用]1回1gを1日4回 [禁]消化性潰瘍、アスピリン喘息既往、緑内障、前立腺肥大 [副]造血管障害、肝・腎障害 [相]ワルファリン、糖尿病薬の作用状況、抗コリン作用注意
6.5		
7 ・その他の中枢神経系用薬		
ドネペジル塩酸塩OD錠 5mg (アリセプトD錠)	抗認知症薬(コリンエステラーゼ阻害) [適]アルツハイマー・レビー小体型	[用]開始1日1回3mg→1~2週後に5mgへ(最大10mg) [副]消化器症状、錐体外路症状、悪性症候群、横紋筋融解 [相]コリン作用重複、CYP3A4代謝
25.9		
メマンチン塩酸塩OD錠 10mg (メマリ-OD錠)	抗認知症薬(NMDA受容体拮抗) [適]中・高度アルツハイマー型認知症	[用]開始1日1回5mg→維持量20mg(高度腎機能障害10mg) [副]傾眠、めまい、高血圧、体重減少、便秘、痙攣、肝障害、横紋筋融解 [注]腎排泄型 [相]ドパミン作用増強 [特]ドネペジルに比べ鎮静系でBPSDに向く
42.2		
グラマリール錠 25mg	抗精神病薬 [適]精神興奮、徘徊、せん妄	[用]1回25~50mgを1日3回 [禁]下垂体腫瘍 [副]悪性症候群、QT延長、パーキンソン病、体重増、肝障害 [特]脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行動・精神興奮・不穏等に適応。高齢者にもよく用いられる
13.6		
ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg (レミッチカプセル)	掻痒症改善剤 [適]透析、慢性肝疾患の掻痒	[用]1日1回2.5μgを夕食後or就寝前(最大5μg) [注]血液透析で除去、一包化× [副]不眠、眠気、めまい、消化器症状、肝障害、プロラクチン値上昇 [相]CYP3A代謝、オピオイドに増強or拮抗
261.4		
タルチレリンOD錠 5mg (セレジストOD錠)	脊髄小脳変性症治療剤 [適]上記の運動失調の改善	[用]1回5mgを1日2回食後投与。 [副]痙攣、悪性症候群、肝障害、血球減少 [注]腎排泄
225.7		
リルゾール錠 50mg (リルテック錠)	筋萎縮性側索硬化症用剤 [適]上記症状の進展抑制	[用]1回50mgを1日2回(朝夕食前) [禁]重篤な肝障害 [副]肝障害・嘔気、好中球減少、間質性肺炎、めまい・眠気 [注]CYP1A2阻害薬で作用増
420.1		
8 ・局所麻酔剤		
キシロカインビスカス2% 1mL=5.3	局所麻酔薬 [適]表面麻酔	[用]表面麻酔:1回100~300mg(5~15mL)を1日1~3回
9 ・骨格筋弛緩剤		
ダントリウムカプセル 25mg	末梢性筋弛緩薬 [適]痙性麻痺、悪性症候群	[用]1日25mg→最高1回50mgを1日3回 [禁]著しい心肺機能低下、筋無力、肝障害
18.9		
10・鎮痙剤		
ブスコパン錠 10mg	鎮痙薬(抗コリン薬) [適]胃腸痙攣、子宮痛	[用]1回10~20mgを1日3~5回 [副]心拍数増加、排尿障害、眼圧上昇、口渇、便秘 [禁]出血性大腸炎、緑内障、前立腺肥大、重篤心疾患、麻痺性イレウス
5.9		
リオレサル錠 5mg	中枢性筋弛緩薬 [適]痙性麻痺	[用]初回1日5~15mgを1日1~3回→以後増量し標準量1日30mg [注]腎排泄 [相]降圧剤、中枢抑制剤の作用増強 [特]同系統の他剤より効果・副作用は強い
11		
11・鎮暈剤		
トラベルミン配合錠	めまい・抗ヒスタミン薬 [適]回転性めまい、乗り物酔い	[用]1回1錠を1日3~4回 [禁]緑内障、下部尿路閉塞性疾患 [副]眠気、倦怠感、抗コリン作用(心拍数増、口渇等)
5.9		

12・強心剤		ハイリスク群	
ジゴキシン錠 0.125mg (ハーブジゴキシン錠) 9.8	ジゴキシン製剤 [適]うっ血性心不全、心房細動 上室性頻拍	[用]急速飽和療法:初回0.5~1mg、0.5mgずつ6~8時間毎 維持量:1日0.25~0.5mg [注]血中濃度測定、腎排泄型薬、低Kで作用増強 [相]CYP3A代謝→多剤併用で血中濃度変動 [禁]房室・洞房ブロック、閉塞性心筋疾患 [副]ジギタリス中毒(催不整脈、消化器症状、頭痛、眠気)	
ピモベンダン錠 1.25mg (アカルディカプセル) 35.6	その他の強心薬 [適]急性・慢性心不全	[用]1回2.5mgを病態に応じて1日2回まで。ジギタリス、利尿剤と併用して使用。 [副]心室性不整脈、肝障害 [特]内服の強心薬で唯一、予後を悪化させる可能性が少ない	
13・不整脈用剤		ハイリスク群	→他に、ワソラン(17-2・血管拡張薬)
シベンゾリン錠 100mg (シベノール錠) 17.2	Ia群抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈	[用]1回100~150mgを1日3回(年齢・腎機能で減量) [注]血中濃度測定 [相]CYP3A・2D6代謝 [禁]うっ血性心不全・高度のブロック、透析、閉塞隅角緑内障、尿貯留傾向 [副]低血糖、緑内障、口渇、便秘、排尿障害(抗コリン)、心不全、血液障害、肝障害、間質性肺炎	
アプリンジン塩酸塩カプセル 20mg (アスペノンカプセル) 19.8	Ib群抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈	[用]1回10~20mgを1日2~3回 [注]血中濃度測定 [相]CYP2D6で代謝 [禁]重篤な心不全のある患者 [副]肝障害、無顆粒球症、間質性肺炎 [特]Ia群に近い薬効を有し、持続性心室頻拍の他に心房細動にも用いられる。	
メキシレチン塩酸塩カプセル 50mg (メキシチールカプセル) 5.9	Ib群抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈 糖尿病性神経障害	[用]1回100mgを1日3回(1日最大450mg) [注]血中濃度測定 [禁]重篤な心不全のある患者 [副]肝障害、高血糖 [相]CYP1A2,2D6で代謝 [特]心室性頻脈、糖尿病性神経障害にも効果	
ビルシカイニド塩酸塩カプセル 50mg (サンリズムカプセル) 21.5	Ic群抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈	[用]1回50mgを1日3回(最大1日225mg) [特]発作性心房細動に使用 [禁]うっ血性心不全 [副]肝障害 [注]血中濃度測定 腎排泄型薬	
アテノロール錠 25mg (テノーミン錠) 5.9	II群抗不整脈薬 β ₁ 遮断薬 [適]不整脈、狭心症、高血圧	[用]1日1回 50mg(1日最高量100mg) [禁]高度徐脈、未治療褐色細胞腫瘍、アシドーシス [副]心不全、気管支喘息、めまい [特]1/4~1/2の少量でも効果が見られることがある(腎機能にも左右される)	
アミオダロン塩酸塩錠 100mg (アンカロン錠) 77.4	III群抗不整脈薬 [適]心室細動/頻拍、心房細動 致死性不整脈で他剤無効時	[用]導入期:1日400mgを1~2分服、維持期:1日200mgを1~2分服。 [禁]重篤洞不全/房室ブロック、ヨウ素過敏症 [副]間質性肺炎、催不整脈、甲状腺機能異常、肝障害 [相]CYP3A4阻害 [特]持続性心室頻拍の停止に有用。心房細動の再発予防にも有効。	
14・利尿剤			
フロセミド錠 20mg、40mg (ラシックス錠) 20mg=6.1、40mg=6.4	ループ系利尿薬 [適]利尿	[用]1日1回40~80mgを連日又は隔日 [特]水分排泄能が高い [禁]無尿 [副]電解質異常(Na,K低下)、高尿酸血症、ふらつき	
スピロラクトン錠 25mg (アルダクトンA錠) 5.7	カリウム保持性利尿薬 [適]利尿	[用]1日50~100mgを分服 [禁]急性心不全 [副]電解質異常(低Na,高K)、不整脈 [特]アルドステロン拮抗作用により、心保護効果もあるとされる	
トリクロルメチアジド錠 2mg (フルイトラン錠) 6.2	チアジド系利尿薬 [適]利尿、高血圧	[用]1日2~8mgを1~2回に分服、少量より開始 [禁]無尿 [副]電解質異常、尿酸上昇、血糖上昇、再生不良性貧血 [特]降圧の相乗効果を期待して、降圧剤と併用されることが多い	
ダイアモックス錠 500mg 18.9	炭酸脱水酵素抑制剤 [適]①緑内障、②てんかん ③呼吸性アシドーシス、④メニエル病	[用]1日量①250~1000mg分割、②250~750mg分割、③250~500mg1回、④250~750mg1回 [禁]急性腎不全・無尿、高度肝障害、副腎機能不全 [相]降圧剤、ジゴキシン、カルバマゼピン作用増 [副]代謝性アシドーシス、低K、低Na、血液障害、めまい、血糖変動、ショック	
15・血圧降下剤 17-1・血管拡張剤(降圧剤)			
バルサルタン錠 80mg (ディオバン錠) 13.4	アンジオテンシンII拮抗薬(ARB) [適]高血圧	[用]1日1回40~80mg(最大160mg) [副]高カリウム、肝障害	
エナラプリル錠 5mg (レニベース錠) 10.1	アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬 [適]高血圧	[用]1日1回5~10mg [特]空咳を利用して、誤嚥性肺炎の予防に有効との報告 [禁]血管浮腫の既往歴 [副]空咳、高カリウム、肝障害	
アムロジピンOD錠 5mg (アムロジン、ノルバスク) 10.1	Ca拮抗 降圧剤 [適]高血圧	[用]1日1回2.5~10mg [特]半減期長く長時間作用する [副]ほてり、頭痛、肝障害 [相]CYP3A4で代謝 ※亜鉛とキレートする	
ニトレンジピン錠 5mg (バイロテンシン錠) 9.8	Ca拮抗 降圧剤 [適]高血圧	[用]1日1回 5~10mg [副]アムロジピンと同じ [相]CYP3A4で代謝	
ニフェジピンL錠 10mg (アダラートL錠) 5.7	Ca拮抗 降圧剤 [適]高血圧	[用]1回10~20mgを1日1~2回 [注]徐放性製剤のため簡易懸濁法は不適 [禁]妊婦、急性心筋梗塞 [副]低血圧、頭痛、ほてり [相]CYP3A4で代謝	
ドキサゾシン錠 1mg (カルデナリン錠) 10.1	α ₁ 遮断 降圧剤 [適]高血圧	[用]1日1回0.5mgから開始→1日1回1~4mg(最高量8~16mg) [副]起立性低血圧、動悸、頭痛、肝障害	
エブランチルカプセル 15mg 15.8	α遮断 排尿障害、降圧剤 [適]高血圧、排尿障害	[用]1回15mgを1日2回から開始(1日最高量:①高血圧120mg、②排尿障害90mg) [副]起立性低血圧、動悸、頭痛、肝障害	
カルベジロール錠 2.5mg、10mg (アーチスト錠) 2.5mg=10.1、10mg=10.1	α、β遮断 降圧、心不全薬 [適]高血圧・狭心症、慢性心不全	[用]①高血圧、狭心症:1日1回10~20mg ②慢性心不全:1回1.25~10mgを1日2回 [禁]気管支喘息、アシドーシス、心原性ショック [副]徐脈、心不全、肝障害、めまい [相]CYP2D6,2C9,3A4,1A2,2E1で代謝、胆汁排泄 [特]心保護効果、抗不整脈薬の用途も	

17-2・血管拡張剤（狭心症・その他）		
一硝酸イソソルビド錠 20mg (アイトロール錠) 7.7	狭心症血管拡張薬 一硝酸イソソルビド [適]狭心症	[用]1回 20mgを1日2回(最大1日80mg) [特]半減期が長く持続作用 [禁]重篤な低血圧、心原性ショック、頭部外傷、脳出血、閉塞隅角緑内障 [副]肝障害・めまい
ニトロベン舌下錠 0.3mg (ニトログリセリン) 10.5	狭心症血管拡張薬 [適]狭心症発作時	[用]1回0.3～0.6mgを舌下、数分間で効果無ければ同量追加 [禁]一硝酸イソソルビドと同じ [相]降圧剤、利尿剤、血管拡張薬で作用増強
ジピリダモール錠 25mg (ペルサンチン錠) 5.8	抗血小板薬 [適]狭心症、心不全 抗血栓、尿蛋白	[用]①狭心症、心筋梗塞、心不全:1回25mg1日3回、②抗血栓、尿蛋白減少:1回100mg1日3回 [副]狭心症誘発(器質的狭窄例で)、出血傾向増強
シルチアゼム塩酸塩錠 30mg (ヘルベッサ錠) 5.7	Ca拮抗 狭心症、降圧剤 [適]狭心症、高血圧	[用]狭心症・高血圧:1回30～60mgを1日3回 [禁]重篤なうっ血性心不全、洞不全 [副]徐脈、肝障害、頭痛、ほてり [相]CYP3A4代謝 [注]徐放性製剤のため簡易懸濁法は不適 [特]ジヒドロピリジン系のCa拮抗薬とワソランの中間の性質を示し、狭心症に用いられる
ワソラン錠 40mg 7.2	Ca拮抗 抗不整脈、狭心症 [適]頻脈性不整脈、狭心症	[用]1回40～80mgを1日3回 [注]簡易懸濁法で投与する際には粉砕で使用可 [禁]重篤なうっ血性心不全 [副]血圧低下、徐脈、動悸、ほてり、便秘 [相]CYP3A4代謝 [特]心房細動・粗動、発作性上室性頻拍に適
16・脂質異常症用剤		
ロスバスタチン錠 2.5mg (クレストール錠) 10.1	HMG-CoA阻害薬(ストロングスタチン) [適]脂質異常症(高コレステロール)	[用]1日1回2.5～10mg(最大1日20mg) [特]水溶性のHMG-CoA阻害薬 [禁]肝機能低下 [副]横紋筋融解症、腎・肝障害 [相]CYP2Cで代謝、マクロライド系で作用増強
フェノフィブラートカプセル 100mg (リビディル錠、トライコア錠) 11.6	フィブレート系薬 [適]脂質異常症(高中性脂肪)	[用]1日1回134～201mg(TGのみ異常、肝障害→67mgより開始)。空腹避けて食後投与 [禁]肝障害、中等度以上の腎障害、胆嚢疾患 [注]スタチンとの併用 [副]横紋筋融解症、肝障害、膵炎 [相]CYP2C9代謝阻害(ワルファリン併用注意)
18・その他の循環器官用薬		
ミドドリン塩酸塩錠2mg (メリジン錠) 8.8	低血圧治療薬 [適]本態性/起立性低血圧	[用]1回2mgを1日2回(1日最大8mg) [禁]甲状腺機能亢進症、褐色細胞腫 [副]頭痛、悪心、腹痛、腎障害、肝障害 [特] α 1刺激による末梢血管収縮(心後負荷の増強→心機能障害のある症例には注意)
沈降炭酸カルシウム錠 500mg (カルタン錠) 5.8	高リン血症治療薬 [適]腎不全患者における高P血症	[用]1日3gを3回分割、食直後 [禁]甲状腺機能低下 [副]高Ca、結石、消化器症状、肝障害 [注]ニューキノロンと併用で吸収低下、Ca上昇(牛乳やビタミンDとの併用)、カメト効果減弱
カリメート経口液20%(25g/包) 77.8	カリウム吸着イオン交換樹脂 [適]高カリウム血症	[用]1日3～6包を2～3分服 [禁]腸閉塞 [副]便秘 [相]低Kによりジゴキシンの作用増強
19・鎮咳剤		
アストミン錠 10mg 6.8	非麻薬性鎮咳薬 [適]鎮咳	[用]1回10～20mgを1日3回 [副]食欲不振、口渇、悪心、眠気、めまい、動悸
フスコデ配合シロップ 1mL=5.4	鎮咳薬配合薬 [適]鎮咳	[用]1回約3mLを1日3回(計10mL) [禁]閉塞隅角緑内障、下部尿路閉塞、重篤呼吸抑制 [副]呼吸抑制、抗コリン(眼圧上昇、尿閉、口渇、便秘)、心悸亢進 [特]ジヒドロコデインリン酸塩、dl-メチルエフェドリン塩酸塩、クロルフェニラミン酸塩を配合
20・去痰剤		
アンブロキシール錠 15mg (ムコソルバン錠) 5.7	去痰薬 [適]去痰、副鼻腔炎の排膿	[用]1回15mgを1日3回 [特]サーファクタント分泌を増加させ、痰の喀出を容易にする
カルボシステイン錠 250mg (ムコダイン錠) 6.7	去痰薬 [適]去痰、慢性副鼻腔炎排膿	[用]1回250～500mgを1日3回 [副]消化器症状、肝障害 [特]喀痰の粘稠度の低下・気道粘膜正常化痰を出しやすくする
22・気管支拡張剤		
ネオフィリン錠 100mg 5.9	ハイリクス薬(テオフィリン) テオフィリン速放製剤 [適]閉塞性肺疾患、うっ血性心不全	[用]1回100mgを1日3～4回 [副]痙攣、意識障害、肝障害、嘔吐、食欲不振、動悸 [注][相]CYP1A2代謝、CYP阻害で併用薬に影響を与える [注]血中濃度測定 [特]気管支拡張、強心利尿、冠血管拡張作用あり。簡易懸濁可能
23・止瀉剤、整腸剤		
ガスコン・ドロップ 20mg/1mL 1mL=3.4	消化管ガス吸着薬 [適]検査前腸内ガス除去	[用]胃内視鏡検査:15～40分前に40～80mgを10mLの水と共に服用 [注]振ってから使用する
ガスサール錠 40mg (ガスコン錠) 5.7	消化管ガス吸着薬 [適]腸内ガス除去	[用]1回40～80mgを1日3回 [副]軟便、胃部不快感
ミヤBM錠 5.7	酪酸菌(宮入菌)製剤 [適]便秘、下痢など腸内環境改善	[用]1回1～2錠を1日3回 [特]芽胞菌のため熱に強く、抗生剤への耐性も強い。
ラックビー微粒N(1g/包) 6.3	ビフィズス菌製剤 [適]便秘、下痢など腸内環境改善	[用]1回1～2gを1日3回 [特]牛乳アレルギーにも使用可能な整腸剤 [注]抗生剤には耐性が無いので併用時無効
タンニン酸アルブミン原末 7	整腸剤 [適]下痢症	[用]1日3～4gを3～4回 [禁]出血性大腸炎、牛乳アレルギー、鉄剤と併用で効果減弱 [注]ロペラミドと併用で効果減弱 [副]肝障害、便秘

24・消化性潰瘍用剤		
ランソプラゾールOD錠 15mg (タケロンOD錠) 21.1	プロトンポンプ阻害制酸薬 [適]胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌除菌	[用]1回15～30mgを1日1回 [副]造血器障害、肝障害、間質性腎症 [相]CYP2C19,3A4で代謝
タケキャブ錠 20mg 第2選択 144.8	プロトンポンプ阻害薬(P-CAB) [適]胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌除菌	[用]胃・十二指腸潰瘍:1回20mgを1日1回、NSAIDs併用時の左記予防1回10mgを1日1回 [副]消化器症状、肝障害 [相]CYP3A4で代謝 [特]従来のPPIより作用発現が早く、強い胃酸抑制。ピロリ菌除去においても有効性高い
ファモチジンOD錠 20mg (ガスターD錠) 10.1	H ₂ 拮抗制酸薬 [適]胃・十二指腸潰瘍	[用]1回10～20mgを1日2回 or 1回20～40mgを寝る前 [副]造血器障害、腎障害、肝障害、認知症悪化 [注]腎機能に応じて減量を
レバミピド錠 100mg (ムコスタ錠) 10.1	胃粘膜保護薬 [適]胃・十二指腸潰瘍	[用]1回100mgを1日3回 [特]胃粘膜保護薬 副作用や相互作用少ない
スルピリド錠 50mg (ドグマチール錠) 6.4	D ₂ 拮抗 抗精神病薬 [適]統合失調症、うつ病、胃腸潰瘍	[用]統合失調症:1日300～600mg(最高1200mg)、うつ:1日150～300mg(最高600mg) 胃・十二指腸潰瘍:1回50mgを1日3回 [禁]褐色細胞腫 [副]悪性症候群、QT延長、体重増
26・制酸剤		
酸化マグネシウム(0.33g/包) 1g=1.56	マグネシウム下剤 [適]便秘、制酸	[用]1回0.5～2gを1日1～3回 [副]高Mg [相]Ca、ビタミンD ₃ 剤との併用、胃内pH上昇の影響 [注]ニューキノロン系、テトラサイクリン系の抗生物質、鉄剤と同時服用しない [特]腸内に水分を引き寄せ、便を軟らかくさせる
27・下剤、浣腸剤		
アローゼン顆粒(0.5g/包) 1包=3.25	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1回0.5～1gを1日1～2回 [禁]痙攣性便秘 [副]電解質異常(特に低カリウム)、赤色尿
センノシド錠 12mg (ブルゼノド錠) 5.1	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1回12～24mgを寝る前 [注]腸溶性のため簡易懸濁法不可 [禁][副]アローゼンと同じ
ピコスルファートNa液0.75% (ラキソベロン液) 1mL=7.6	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1日1回10～15滴(5滴で錠剤2.5mgに相当) [禁]腸管閉塞
28・利胆剤		
ウルソデオキシコール酸錠 100mg (ウルソ錠) 6.55	利胆薬 [適]胆道系異常を伴う肝疾患 慢性肝炎、C型肝炎、胆石	[用]①利胆、肝機能改善:1回50mgを1日3回、②胆石・C型肝炎:1回200mgを1日3回 [禁]完全胆道閉塞、劇症肝炎 [副]間質性肺炎 [相]SU剤の血糖降下増強
29・その他の消化器用薬		
モサプリド錠 5mg (ガスマチン錠) 10.1	消化管機能改善薬 [適]慢性胃炎に伴う消化器症状	[用]1回5mgを1日3回 [相]抗コリン作用を有する薬剤で作用減弱 [副]肝障害
ドンペリドン錠 10mg (ナウゼリン錠) 8.9	制吐剤 [適]悪心、嘔吐、胸やけなど	[用]1回10mgを1日3回食前 [特]非中枢性の抗ドパミン作用を持つ制吐剤 [禁]消化管出血、機械的イレウス、下垂体腫瘍 [副]錐体外路症状、痙攣、肝障害、QT延長 [相]CYP3A4代謝
カモスタット錠 100mg (フォイパン錠) 6.7	蛋白分解酵素阻害剤 [適]慢性膵炎の急性、術後逆食	[用]①慢性膵炎:1日600mg分3、②術後逆流性食道炎1日300mg分3 [副]血小板異常、肝障害、黄疸、高K
ポリカルボフィルCa細粒83.3% (ポリフル細粒) 26.7/g	過敏性腸症候群治療剤 [適]上記における下痢、便秘	[用]1日1.8～3.6gを1日3回(下痢は1.8gでも効果あり) [特]消化管内水分を調整する [禁]急性腹部疾患、術後イレウス、高Ca血症、腎結石、腎不全 [副]消化器症状、肝障害 [注]活性型ビタミンD併用で高Ca、ジギタリス併用で作用増、ニューキノロン併用で吸収減
30・甲状腺、副甲状腺ホルモン剤		
チラージンS錠 50μg 9.8	甲状腺ホルモン補充薬 [適]甲状腺機能低下症	[用]1日1回25～400μg [禁]新鮮な心筋梗塞 [副]狭心症、肝障害 [相]フェロミア、カリメート併用で吸収低下(間隔を空けて投与)。 ワルファリン、血糖降下薬で作用増強
メルカゾール錠 5mg 9.8	抗甲状腺薬 [適]甲状腺機能亢進症	[用]開始量1回10mgを1日3～4回→維持量1回5mgを1日1～2回 [副]無顆粒球症、肝障害 [相]ワルファリン、ジゴキシンの効果変動する
31・副腎ホルモン剤		
プレドニゾン錠 5mg (プレドニン錠) 9.8	ハイリスク群 副腎皮質ステロイド薬 [適]免疫疾患各種 喘息等の炎症時	[用]1日5～60mgを1～4分服 [禁]全身感染症、消化性潰瘍、後嚢白内障、緑内障 [副]易感染性、糖尿病、消化器障害、精神変調、骨粗鬆症、白・緑内障、血栓症、高血圧、低K [相]CYP3A4代謝→アレビアチン、ワルファリン、糖尿病薬、利尿薬、マクロライド系等の作用に影響
32・痔疾用剤		
ヘモナーゼ配合錠 10.1	痔疾治療剤 [適]痔核・裂肛症状の寛解	[用]1回1錠を1日3～4回 [副]発疹・発赤、消化器症状、血痰等出血傾向 [相]抗凝固薬の作用増強 [特]プロメライン(抗炎症・血栓溶解)+トコフェロール(血行改善・創傷治癒)

33・その他の泌尿生殖器及び肛門用薬		
タムスロシンOD錠 0.2mg (ハルナルD錠) 16.9	前立腺肥大治療薬 α _{1A} 遮断薬 [適]前立腺肥大症	[用]1日1回 0.2mg [特]前立腺肥大に伴う排尿障害の第1選択薬(特に排尿障害) [副]失神(起立性低血圧、血圧低下)、肝障害、口渴 [相]降圧剤の作用増強
ナフトビジルOD錠 75mg (フリバス錠) 16.9	前立腺肥大治療薬 α _{1A} 遮断薬 [適]前立腺肥大症	[用]1日1回 25~75mg [特]前立腺肥大に伴う排尿障害の第1選択薬(特に頻尿) [副]失神(起立性低血圧、血圧低下)、肝障害、口渴 [相]降圧剤の作用増強
プロピベリン錠 10mg (パップフォー錠) 12.7	尿失禁・頻尿治療薬 抗コリン薬 [適]頻尿、失禁、過活動膀胱	[用]1回20mgを1日1回(最大1日2回) [相]CYP3A4代謝 [禁]腸管閉塞、緑内障、下部尿路閉塞、重症筋無力症、重篤な心疾患 [副]抗コリン作用
イミダフェナシン錠 0.1mg (ウリトス、ステープラ錠) 第2選択 19.4	過活動膀胱治療剤 抗コリン薬 [適]頻尿、失禁、過活動膀胱	[用]1回0.1mgを1日2回 [相]CYP3A4代謝 [特]夜間頻尿の改善にエビデンス [禁]尿閉、腸管閉塞、緑内障、重症筋無力症、重篤な心疾患 [副]抗コリン作用、肝障害
34・ビタミンA及びD剤(骨粗鬆症治療薬)		
アルファカルシドール錠 0.5μg (ワンアルファ錠) 5.9	活性化ビタミンD ₃ 製剤 [適]骨粗鬆症、VD代謝異常	[用]1日1回0.5~4μg [副]血清Ca上昇を伴う急性腎不全、肝障害 [相]Mg製剤で作用増強。ジゴキシンの作用増強
35・ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)		
パントシン錠 100mg 6.7	パントテン製剤 [適]パントテン補充、弛緩性便秘、脂質異常	[用]①パントテン補充:1回30~60mgを1日1~3回、②弛緩性便秘:1回100mgを1日1~3回 ③脂質異常:1回200mgを1日3回
メコバラミン錠 500μg (メチコバル錠) 5.7	ビタミンB ₁₂ 製剤 [適]末梢性神経障害、B ₁₂ 欠乏貧血	[用]1回500μgを1日3回
37・無機質製剤		
グルコンサンK細粒4mEq(1g/包) 1包=6.9	カリウム補充製剤 [適]カリウム欠乏	[用]1回10mEq相当を1日3~4回 [禁]重篤な腎障害、アジソン病、消化管通過障害 [相]Kを上昇させる薬剤
クエン酸第一鉄Na錠 50mg (フェロミア錠) 5.7	鉄剤 [適]鉄欠乏性貧血	[用]1回100mgを1日1~2回食後 [副]悪心・嘔吐、肝障害 [注]ニューキノロン、テトラサイクリン系との同時服用で吸収阻害(2時間以上開ける)、便黒色あり
38・止血剤		
アドナ錠 30mg 8.1	血管補強薬 [適]出血	[用]1回10~30mgを1日3回 [特]血管増強剤で、血小板・凝固系には影響を与えない
トランサミンカプセル 250mg 10.1	抗プラスミン薬 [適]出血、咽頭炎、口内炎、蕁麻疹	[用]1回250~500mgを1日3~4回 [特]抗プラスミン薬、喉の炎症にも用いる
ケイソーシロップ0.2%(2mg/1ml) 23.7	ビタミンK ₂ [適]VK欠乏、低PT(新生児)	[用]1日1回1~3mL(ただし新生児の用法→成人は3~5mL以上必要) [相]ワルファリンの作用減弱
39・血液凝固阻止剤 ハイリスク群		
ワルファリンK錠 0.5mg、1mg (ワーファリン錠) 0.5mg=9.8、1mg=9.8	抗血液凝固薬 ビタミンK拮抗薬 [適]血栓塞栓症 心房細動合併時の血栓予防	[用]初回:1日1回5~6mg→維持量:1日1回1~5mg [注]PT-INRで凝固能確認(一般2.0~3.0、高齢者1.6~2.6に) [禁]出血、重篤な肝・腎障害 [注][相]CYP2C9、1A2、3A4代謝で多くの薬剤と相互作用があるので併用薬変更時は注意 納豆・青汁などビタミンK含有食品は避ける(効果減弱する) *フルカリックにもVK含有
リクシアナOD錠 60mg 第2選択 416.8	抗血液凝固(FXa阻害) [適]静脈血栓・全身塞栓症	[用]1日1回60mg(体重、腎機能、併用薬、適応疾患で15~30mgに減) [禁]出血傾向、急性細菌性心内膜炎、腎不全 [副]出血、肝障害、間質性肺疾患 [相]キニジン、ワソラン、マクロライド系と併用では減量。
40・その他の血液・体液用薬(抗血小板薬) ハイリスク群		
バッサミン配合錠A81 (パファリン配合錠A81) 5.7	抗血小板薬 [適]脳梗塞・心筋梗塞の血栓	[用]1日1回1錠 [注]吸湿性有り、ダイアルミネート配合(制酸目的でAl含む) [禁]出血傾向 [副]出血、造血器障害、喘息誘発、肝障害、消化器潰瘍 [相]糖尿病薬、利尿剤、ステロイド(作用増)、テトラサイクリン・ニューキノロン(作用減)、NSAIDs(作用増)
シロスタゾール錠 100mg (プレタール錠) 13.7	抗血小板薬 [適]脳梗塞・心筋梗塞の血栓	[用]1回100mgを1日2回 [禁]出血、うつ血性心不全 [相]CYP3A4代謝 [副]狭心症、造血器障害、肝障害、間質性肺炎、頭痛、頻脈
サルボグレラート塩酸塩錠 100mg (アンブラグ錠) 30.9	抗血小板薬 [適]ASOに伴う潰瘍、疼痛、冷感等	[用]1回100mgを1日3回 [禁]出血傾向 [副]脳出血、消化管出血、造血器障害、肝障害 [相]種々のCYP代謝の影響を受ける
ベラプロストNa錠 20μg (ドルナー、プロサイリン) 21.2	抗血小板薬 [適]ASOに伴う潰瘍、疼痛、冷感等 原発性肺高血圧症	[用]①ASO:1回40μgを1日3回、②肺高血圧:1回20μgを1日3回(最大1日180μg) [禁]出血傾向 [副]頭痛、ほてり、嘔吐、下痢、肝障害、心筋梗塞
41・解毒剤		
球形吸着炭細粒(2g/包) (クレメジン細粒) 1包=80.4	球形吸着炭 [適]腎機能障害における尿毒素	[用]1回2gを1日3回 [特]慢性腎不全における尿毒症毒素を消化管内で吸着する [禁]消化管に通過障害がある場合[相]他の薬剤の吸着を避けるため30~60分ずらして投与
42・痛風治療剤		
アロプリノール錠 100mg (ザイロリック錠) 7.8	尿酸生成阻害薬 [適]高尿酸血症	[用]1回100mgを1日2~3回食後 [副]薬疹、造血器障害、肝・腎障害(腎機能低下時注意) [相]併用薬の代謝を弱め作用増強させる [注]腎機能に応じて減量を
ボトレント配合散 (ウラリット-U散) 6.5	尿アルカリ化薬 [適]高尿酸血症、アシドーシス	[用]①痛風:1回1gを1日3回、②アシドーシス:1回2gを1日3回 [副]血清K上昇

43・糖尿病用剤		ハイリスク群
グリメピリド錠 1mg (アマリール錠)	スルフォニルウレア(SU)糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1日1~4mgを1~2分服(1日最高6mg) [特]第3世代SU剤、グリベンクラミドより持続性 [禁]重症ケトシス、重篤肝・腎障害、重症感染症・外傷、下痢・嘔吐(作用増強) [副]低血糖 [相]パフアリン、ワルファリン、β遮断薬、抗生剤で作用増強、アレピアチン、利尿剤などで作用減弱
10.1		
グラクティブ錠 50mg	DPP-4阻害 糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1回50mgを1日1回(腎機能により12.5~25mgに減、最大100mg) [注]腎排泄→腎機能低下注意 [禁]重症ケトシス、糖尿病性昏睡、透析要する腎障害 [副]肝障害、膵炎 [相]SUとの併用で作用増 [特]インクレチン分解阻害薬 食事依存で効果を示す→他剤に比べ体重増や低血糖が少ない
113.8		
ピオグリタゾン錠 15mg (アクトス錠)	チアゾリジン 糖尿病薬	[用]1日1回15~30mg朝(最大45mg) [特]インスリン抵抗性を改善 [禁]心不全、ケトシス、重篤な肝・腎障害・感染症・外傷 [副]心不全、体重増、浮腫、肝障害、低血糖
12.7		
メトホルミン錠 250mg (メトグルコ錠)	ピグアナイト系 糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1日500~750mgを2~3分服(1日最高2250mg) [特]インスリン抵抗性改善、肥満例に向く [副]消化器症状(下痢など)、横紋筋融解、VB12低下 [禁]腎障害(乳酸アシドーシス↑)、肝障害、低酸素状態、脱水 [注]腎毒性の強い薬剤は併用注意
10.1		
ボグリボースOD錠 0.2mg (ベイスンOD錠)	α-グルコシダーゼ阻害 糖尿病薬 [適]糖尿病	[用]1回0.2~0.3mgを1日3回毎食直前 [特]小腸での糖の吸収を抑制する [禁]重症ケトシス、重症感染症・外傷 [副]腹部膨満・放屁、肝障害、低血糖→ブドウ糖で対処
10.1		
44・他に分類されない代謝性医薬品		
ダーブロック錠 4mg	HIF-PH阻害薬 [適]腎性貧血	[用]1日1回、1回4mgで開始(保存期CKDでは2mgまたは4mg、最高24mgまで)。 [副]血栓塞栓症、高血圧、悪性腫瘍増悪、網膜出血 [相]CYP2C8代謝、Fe、Ca等と相互作用無し
291.8		
メトトレキサートカプセル 2mg (リウマトレックス)	免疫抑制薬(葉酸拮抗) [適]関節リウマチ	[用]1週間6mg(1日目2mg×2、2日目2mg×1)(最大1週間8mg) [禁]骨髄抑制、慢性肝疾患、腎障害、胸水腹水 [副]感染症、肝不全、腎不全、間質性肺炎
54		
45・その他の腫瘍用薬		
ビカルタミド錠 80mg (カソデックス錠)	前立腺癌治療薬 非ステロイド性アンドロゲン受容体拮抗薬 [適]前立腺癌	[用]1回1錠を1日1回。 [副]乳房腫脹・しこり、肝障害、造血器障害、間質性肺炎、心疾患 [相]CYP3A4阻害あり、ワルファリンの作用増強
122.9		
46・抗ヒスタミン剤		
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠 2mg (ポラミン錠)	第1世代抗ヒスタミン薬 [適]掻痒、じんましん、鼻炎	[用]1回2mgを1日1~4回 [禁]閉塞隅角緑内障、下部尿路閉塞疾患 [副]血液障害、痙攣、眠気、抗コリン作用(口渇等)
5.7		
47・その他のアレルギー用薬		
ルパフィン錠 10mg	第2世代抗ヒスタミン薬 [適]鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患	[用]1回10mgを1日1回(最大20mg) [副]眠気、肝障害、痙攣 [相]CYP3A4代謝 [特]抗ヒスタミン(第2世代で眠気少ない)に加え、抗PAF作用もあり鼻閉にも一定の効果
46.4		
モンテルカスト錠 10mg (キプレス、シングレア)	ロイコトリエン受容体拮抗薬 [適]気管支喘息、アレルギー性鼻炎	[用]1回10mgを就寝前(鼻炎は5mgも可) [相]CYP3A代謝 [副]消化器症状、口渇、肝障害、血小板減少
15.6		
ペミロラストK錠 10mg (アレギサル)	アレルギー性疾患治療剤 [適]気管支喘息、アレルギー性鼻炎	[用]①気管支喘息:1回10mgを1日2回、②鼻炎:1回5mgを1日2回 [副]発疹、眠気、頭痛、消化器症状、貧血、血小板増加、肝障害、蛋白尿、頻尿 [特]肥満細胞からのケミカルメディエーター放出を抑制して効果(抗ヒスタミン拮抗作用は無し)
25.5		
48・主としてグラム陽性・陰性菌に作用 (ペニシリン、セフェム系)		
各抗生剤の適応菌種はスペクトルチャート等を参照		
アモキシシリンカプセル 250mg (サワシリン)	ペニシリン系抗生物質	[用]1回250mgを1日3~4回 [副]肝障害、下痢、味覚異常 [特]広範囲ペニシリン薬。3剤併用でピロリ菌除去にも使用される。
10.1		
オーゲメンチン配合錠250RS	β-ラクタマーゼ配合ペニシリン	[用]1回1錠を1日3~4回 [副]肝障害、消化器症状、造血器障害、腎障害 [特]アモキシシリン+β-ラクタマーゼ阻害により、G陰性嫌気性菌(誤嚥性肺炎)まで広範囲にカバー
45.7		
フロモックス錠 100mg	第3世代セフェム系抗生物質	[用]1回100~150mgを1日3回 [副]急性腎不全、造血器障害、肝障害
41.1		
49・主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用 (マクロライド系)		
クラリスロマイシン錠 200mg (クラリス錠、クラリシッド錠)	マクロライド系抗生物質 (16員環)	[用]1回200mgを1日2回 [副]腎不全、肝障害、QT延長、消化器症状 [相][注]CYP3A4の代謝阻害あり→併用薬に影響
25.3		
アジスロマイシン錠 250mg (ジスロマック錠)	マクロライド系抗生物質 (15員環)	[用]1日1回500mgを3日間投与 [特]3日投与で効果が1週間持続する [副]腎不全、肝障害、QT延長、消化器症状 [相][特]薬物相互作用は少ない
90.5		
50・合成抗菌剤 (ニューキノロン系)		
<共通>[相]酸化マグネシウム・鉄・カルシウム・アルミニウムを併用する時は1~2時間程度間隔をあけて投与する。 [注]ロキソプロフェンなどの非ステロイド系抗炎症との併用で痙攣誘発の可能性有り(てんかん素因がある場合は注意)。		
レボフロキサシン錠 (クラビット錠)	ニューキノロン系抗生物質	[用]1日1回500mg(腎機能に合わせ調整) [特]呼吸器関連起因菌も得意とする広域ニューキノロン薬 [副]アレルギー、痙攣、肝障害、腎障害、造血器障害、低血糖 [相]CYP1A2代謝
46.7		
シタフロキサシン錠 50mg (グレースビット)	ニューキノロン系抗生物質	[用]1回100mgを1日1回(or50mgを1日2回、1日200mgまで可)、腎機能で用量調節 [副]下痢・軟便、痙攣、アレルギー、低血糖、肝障害、造血器障害、精神、QT延長、大動脈解離 [特]キノロン耐性の肺炎球菌・大腸菌にも比較的強い抗菌活性を示す
92.6		
52-1・その他の化学療法剤(抗生剤)		
ダイフェン配合錠 (バクタ配合錠)	サルファ剤(ST合剤)	[用]1日2回1回2錠(Ccr<30のとき半量、Cre<15は禁忌) 原則他剤無効時のみ使用 [禁]血液障害 [副]血液障害、重篤な皮膚障害、肝障害、腎不全、高K
16.4		
フラジール錠 250mg	メトロニダゾール [適]トリコモナス、嫌気性菌感染	[用]①トリコモナス:1回250mgを1日2回10日、②感染性腸炎:1回250mgを1日4回or1回500mgを1日3回、10~14日。 [禁]血液疾患、脳・脊髄に器質的疾患 [副]末梢神経障害 [注]簡易懸濁法は困難 [特]偽膜性腸炎やピロリ菌の2次除菌でも使われる
36.2		
バンコマイシン塩酸塩【散】 0.5g	抗MRSA、抗CD薬 [適]感染性腸炎、偽膜性大腸炎	[用]1回0.125~0.5gを1日4回(5~10mL注射用水で溶解) [注]形状はハイルだが必ず経口 [副]ショック、腎・肝障害、造血器障害、消化器症状 [特]腸管吸収されずC.difficileに効果
813		

52-2・その他の化学療法剤(抗真菌薬、水虫薬)

フルコナゾールカプセル 50mg (ジフルカン錠) 103.3	深在性抗真菌薬 [適]真菌血症、各種真菌症	[用]カンジダ:50~100mg、他:50~200mgを1日1回 [禁]トリアゾラム併用(CYP3A阻害) [副]SJ/TEN、血液障害、腎不全、肝障害、QT延長、高K [注]ワルファリン増強(CYP2C阻害) [特]カンジダ、クリプトコッカスに有効だが、糸状菌には無効。経口でも吸収率や組織移行性が良好
テルビナフィン錠 125mg (ラミシール錠) 33.6	表在性抗真菌薬 [適]水虫(白癬)、カンジダ	[用]1日1回125mgを食後 [禁][副]重篤な肝障害・血液障害 [副]横紋筋融解症 [相]CYP代謝・阻害あり、併用薬に影響

51・抗ウイルス剤

オセルタミビルカプセル 75mg (タミフルカプセル 75mg) 111.6	抗インフルエンザ薬 [適]A,B型インフルエンザ	[用]1回75mgを1日2回5日間(予防:1日1回75mgを7~10日間)投与 [副]急性腎不全、造血器障害、肝障害、精神症状、下痢
アシクロビル錠 400mg (ゾビラックス錠) 34.3	抗ウイルス薬 [適]単純・帯状疱疹、水痘(ヘルペスウイルス)	[用]①単純疱疹:1回200mgを1日5回、②帯状疱疹:1回800mgを1日5回 [副]造血器障害、急性腎不全、精神症状、肝障害 [注]消化管からの吸収率などが悪いので、1日頻回服用する必要がある
ベムリテジ錠 25mg 923.9	B型肝炎ウイルス薬 [適]B型慢性肝疾患	[用]1回25mgを1日1回 [注]Cer<15で中止 [相]P糖蛋白質質 [副]悪心、腎障害、脂肪肝

53・X線造影剤

ガストログラフィン経口・注腸用 1mL=15.6	[適]消化管造影	[用]①消化管撮影:60mL内服または3~4倍に希釈し、最高500mLを注腸 ②CT造影:30~50倍量の水で希釈し250~500mL内服 [禁]ヨード過敏症 [副]下痢
-----------------------------	----------	--

54・その他の診断用薬(対外診断用医薬品を除く)

トレーランG 75g 205.2	[適]糖尿病診断(75gOGTT)	[用]経口ブドウ糖負荷試験を行う際に1本(75gブドウ糖)を服用 [副]悪心、腹部膨満感
ユービット錠 100mg 2621.9	[適]ピロリ菌診断	[用]ピロリ菌検査:100mg(1錠)を空腹時に服用

55・他に分類されない治療を主目的としない医薬品

ガステーム散 2万単位/0.5g 105.2	胃内粘液溶解除去剤 [適]胃内視鏡検査前処置	[用]検査15分前に、2万単位を重曹1gとともに80mLの水に溶かし経口投与 [禁]胃内出血 [特]胃内視鏡検査における胃内粘液の溶解除去に使用
---------------------------	---------------------------	---

56・あへんアルカロイド系麻薬

麻

オプソ内服液 5mg/2.5mL 171.8	モルヒネ水剤 [適]癌性疼痛	[用]1日30~120mgを1日6回に分割し投与 [副]便秘、眠気、嘔気、呼吸抑制、せん妄、肝障害 [禁]重篤呼吸抑制、気管支喘息発作、重篤肝障害、痙攣状態、出血性大腸炎 [特]速効性モルヒネの水剤(レスキューに使用)、モルヒネの苦味も軽減されている
コデインリン酸塩散10% 1g=149.8	リン酸コデイン [適]癌性疼痛、各種疼痛、鎮咳	[用]1回20mg、1日60mg 鎮咳、鎮痛に用いる。(効果が示す投与量に上限あり) [禁]重篤な呼吸抑制、肝障害、痙攣状態、出血性大腸炎、細菌性下痢 [副]呼吸抑制、錯乱、気管支痙攣、便秘、眠気、連用で依存性

57・漢方製剤

ツムラ大建中湯エキス顆粒【100】 2.5g=34.25		[用]1日15gを2~3回に分割し食前又は食間 [特]イレウス予防にも用いられる。消化管運動亢進作用あり。特に虚症の例に向く
ツムラ抑肝散加陳皮半夏エキス顆粒【83】 2.5g=36		[用]1日7.5gを2~3回に分割し食前又は食間 [特]高齢者のアルツハイマー型認知症の周辺症状に効果を示す(精神安定作用)
ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒【68】 2.5g=26		[用]1日7.5gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]うつ血性心不全、心室細動 [特]こむら返り、急激に起こる筋肉の痙攣を伴う痛み、内臓痛に効果
ツムラ清肺湯エキス顆粒【90】 3g=51.3		[用]1日9gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]消化器症状、肝障害、低K、腸間膜静脈硬化症 [特]COPDや肺気腫の呼吸器症状軽減(去痰)に使用されます
コタロー桂枝茯苓丸料エキス細粒【25】 2g=22.4		[用]1日6gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]肝障害、消化器症状、過敏症 [特]駆瘀血剤で月経異常、更年期障害などに用いられる。体力中・のぼせ体質に適
コタロー補中益気湯エキス細粒【41】 4g=44		[用]1日12gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]間質性肺炎 [特]補剤であり夏バテや食欲不振時にも用いられる。気虚の例に向く

58・経腸栄養剤

エレンタール 80g/包 1包=468.8	成分栄養剤 [適]タンパク質不適合症例	[用]80gを300mL(1kcal/mL)となるように水・微温湯に溶かし、 24時間持続的に注入(75~100mL/h)。1日480~640g(1800~2400kcal) [禁]アミノ酸代謝異常、重症糖尿病 [副]低血糖、下痢 [特]蛋白源はアミノ酸で消化をほとんど必要としない成分栄養剤。ビタミン(+)、脂質(-)
ラコールNF配合経腸用液 400mL/バッグ=432	半消化態栄養剤 [適]経管栄養補給	[用]1日1200~2000mL(1kcal/mL)を75~125mL/hで持続または分割投与 [禁]牛乳蛋白アレルギー、イレウス、重症糖尿病、高度肝・腎障害 [副]下痢
エンシュア・リキッド 250mL=177.5、500mL=355	半消化態栄養剤 [適]経管栄養補給	[用]1日1500~2250mL(1kcal/mL)を100~150mL/hで持続または分割投与 [禁]牛乳蛋白アレルギー [副]下痢 [特]乳糖は含まないので乳糖不耐症にも可。

第2選択→栄養科栄養剤を考慮

1・催眠鎮静剤、抗不安剤		2・抗てんかん剤		ハイリスク群	
ミダゾラム注 10mg/2mL	鎮静、麻酔導入薬 短時間作用ベンゾジアゼピン	[用]全身麻酔導入:0.15~0.3mg/kg、1分以上かけて静注。+半量or同量を追加他、麻酔前投薬、人工呼吸中の鎮静、歯科・口腔外科時の鎮静は添付文書参照		[禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症	[副]呼吸抑制、心停止 [相]CYP3A4代謝
92	[適]全身麻酔導入、処置時鎮静				
サイレース注 2mg/1mL	鎮静、麻酔導入薬 中時間作用ベンゾジアゼピン	[用]①局所麻酔時の鎮静:0.01~0.03mg/kg、1mg/分以上かけて投与 ②全身麻酔導入:0.02~0.03mg/kg、1mg/分以上かけて投与		[禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症	[副]呼吸抑制
91	[適]全身麻酔導入、局所麻酔時鎮静				
アタラックスP注 25mg/1mL	抗不安薬 非ベンゾジアゼピン系	[用]静注:1回 25~50mg、筋注:1回50~100mgを4~6時間毎に(最高100mg)		[副]抗コリン作用、肝障害 [相]CYP3A代謝 [特]不安、抑うつにも効果あり	
57	[適]神経症、麻酔前投薬				
ホリゾン注 10mg/2mL	抗不安、抗てんかん薬 長時間作用ベンゾジアゼピン	[用]10mgを緩徐に静注・筋注、以後3~4時間毎		[禁][副]サイレースと同じ [注]水に溶けにくいので単剤で投与する	
83	[適]抗不安、興奮、てんかん重積			[特]長時間作用。麻酔導入に使用されるが、局所麻酔時の鎮静にも使用される	
アレビアチン注 250mg/5mL	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]125~250mg、開始は50mg/分以内の速度で静注 [注]血中濃度測定		[注]多剤との混合でルート閉塞、結晶析出の可能性 [相]CYPを誘導する	[禁]洞性徐脈、高度刺激伝導障害 [副]造血器障害、肝障害
123					
3・解熱鎮痛消炎剤 ⇒麻薬・非麻薬は47-1,47-2を参照					
採用なし					
4・精神神経用剤		ハイリスク群			
セレネース注 5mg/1mL	抗精神病薬	[用]1回 5mgを1日1~2回筋注or静注 [注]血中濃度測定		[禁]重症心不全、パーキンソン病、ボスミン(逆に血圧低下する)	
91	[適]統合失調症、躁病				
5・局所麻酔剤					
キシロカイン静注2% 100mg/5mL	局所麻酔薬	[用]①硬膜外麻酔:100~200mg、②伝達麻酔:30~200mg、③浸潤麻酔:20~200mg *心室頻脈:1回 50~100mgを1~2分で静注(1時間300mg以内)		[禁]アドレナリン含有製剤と併用	
119	[適]硬膜外・伝達・浸潤・				
キシロカイン注ボリアンプ1% 50mg/5mL	表面麻酔、心室性不整脈	[注]血中濃度測定 [注]カンレノ酸Kと配合変化 [相]CYP1A2,3A4で代謝			
59					
6・骨格筋弛緩剤					
採用なし					
7・鎮けい剤(抗コリン薬)					
ブスコパン注 20mg/1mL	鎮けい薬 [適]消化器系痙攣、子宮痙攣	[用]1回10~20mgを静注・皮下注・筋注		[禁]出血性大腸炎、緑内障、排尿障害、重篤な心疾患、イレウス	[副]抗コリン作用
59	消化管X線・内視鏡検査前処置				
アトロピン硫酸塩注 0.5mg/1mL	抗コリン薬 [適]消化管運動亢進・痙攣性疼痛	[用]0.5~1.0mgを皮下注・筋注(場合によって静注)		[禁]緑内障、前立腺肥大、麻痺性イレウス	
95	副交感神経興奮剤の中毒、徐脈			[副]抗コリン作用(頻脈、口渇、散瞳、嚥下困難、頭痛、排尿障害、せん妄)	
8-1・血管拡張薬					
ニカルジピン塩酸塩注 (ペルジピン注) 2mg=94、10mg=97	Ca拮抗薬 [適]高血圧性緊急症	[用]0.5~6μg/kg/minの点滴速度で投与 [禁]血行動態不安定な急性心不全		[副]肝障害、イレウス、血小板減少、消化器症状、腎障害 [相]CYP3A4代謝	
ニトログリセリン静注 5mg/10mL (ミリスロール注5mg)	硝酸薬 ニトログリセリン [適]手術時の異常高血圧、 急性心不全、不安定狭心症	[用]生食などで0.005~0.05%(1mL当り50~500μg)に希釈し、点滴静注 通常、1分間に体重1kg当りの量で換算し投与量決定。 効能・効果ごとに投与量が異なる→用法は添付文書参照		[禁]閉塞隅角緑内障、重篤な低血圧、心原性ショック、脳出血	[注]輸液セットに吸着を起こすので、専用の輸液セットを使用する
251					
8-2・強心剤(ジギタリス系)		ハイリスク群			
ジギラノゲン注 0.4mg/2mL	強心配糖体薬 [適]うっ血性心不全、 心房細動、発作性上室性頻拍	[用]0.2~0.3mg静注・筋注、飽和療法では0.4~0.6mg		[注]血中濃度測定、低Kで作用増強 [相]CYP3Aで代謝	[禁]房室・洞房ブロック、閉塞性心筋疾患
139				[副]ジギタリス中毒(催不整脈、消化器症状、頭痛、眠気)	
9・不整脈用剤		ハイリスク群			
ワソラン注 5mg/2mL	Ca拮抗・抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈(上室性)	[用]1回5mgを生食orブドウ糖液で希釈し5分以上かけて徐々に静注		[禁]重篤なうっ血性心不全 [副]動悸、ほてり	lb群:キシロカイン静注用2% ⇒5・局所麻酔剤
213					

10・利尿剤

フロセミド注 20mg/2mL (ラシックス注) 58	ループ系利尿薬 [適]浮腫、高血圧症、 尿路結石排出促進	[用]1回 20mgを静注・筋注(腎不全時1日最高1000mg) [禁]肝性昏睡 [相]配合変化あり(サイレース、シメチジン、カンレノ酸カリウムなど)
カンレノ酸カリウム静注用 100mg (ソルダクトン注) 118	カリウム保持性利尿薬 [適]心性浮腫、肝性浮腫 原発性アルドステロン症	[用]1回100~200mgを1日1~2回、20mL生食等に溶解し緩徐に静注(1日最高600mg) [特]カリウム保持性(高Kに注意) 利尿効果は2~3日遅れて発現 [禁]腎不全、てんかん素因 [注]配合変化する薬剤が多い→単剤で投与する
ダイアモックス注射用 500mg 479	炭酸脱水酵素抑制剤 [適]①緑内障、②てんかん ③呼吸性アシドーシス、④メニエル病	[用]1日量①250~1000mg分割、②250~750mg分割、③250~500mg1回、④250~750mg1回 [禁]急性腎不全・無尿、高度肝障害、副腎機能不全 [相]降圧剤、ジゴキシン、カルバマゼピン作用増 [副]代謝性アシドーシス、低K、低Na、血液障害、めまい、血糖変動、ショック

11・その他の循環器官用薬

ヒンセオール配合点滴静注 200mL (グリセオール注) 306	浸透圧性利尿薬 [適]頭蓋内浮腫	[用]1回 200~500mLを1日1~2回、500mL/2~3時間で点滴静注 [相]配合変化あり(アレビアチン、カンレノ酸カリウムなど)
アルプロスタジル注 10μg (リプル注、パルクス注) 837	末梢循環拡張薬 プロスタグランジンE ₁ 製剤 [適]PADの潰瘍・疼痛の改善	[用]1日1回5~10μgを緩徐に静注 [禁]重篤な心不全、出血傾向 [副]出血、意識消失、心不全、間質性肺炎、心筋梗塞、血球減少、肝障害 [特]PGE ₁ をリボ化することで病巣に高濃度に薬剤が及ぶ。[注]単独ラインで投与

12・呼吸促進剤 (薬剤拮抗薬)

ナロキソン塩酸塩静注 0.2mg 889	麻薬拮抗薬 [適]呼吸抑制・覚醒遅延の改善	[用]1回0.2mgを静注、効果不十分な場合2~3分間隔で0.2mgを1~2回追加 [禁]非麻薬性の病因による呼吸抑制 [副]肺水腫 [注]効果が短いので呼吸抑制再発に注意
フルマゼニル注 0.5mg/5mL (アネキセート注) 1005	ベンゾジアゼピン拮抗薬 [適]鎮静の解除、呼吸抑制の改善	[用]初回0.2mgを緩徐に静注、必要に応じ0.1m追加投与(1分間隔以上) [禁]長時間ベンゾジアゼピン系薬剤を投与されているてんかん患者

13・鎮咳剤

採用なし

14・去痰剤

採用なし

15・気管支拡張剤

ハイリスク群

ネオフィリン注PL 250mg/10mL 92	テオフィリン [適]気管支喘息、うつ血性心不全 COPD呼吸困難、狭心症発作予防	[用]1回250mgを1日1~2回、生食等で希釈し5~10分かけて静注点滴 [特]気管支拡張、強心利尿、冠血管拡張作用 [相][注]CYP1A2誘導で併用薬に影響
----------------------------	--	--

16・消化性潰瘍用剤

シメチジン注 200mg/2mL (タガメット注) 57	H ₂ 拮抗・制酸薬 [適]上部消化管出血	[用]1回200mgを生食等で20mLに希釈し、1日4回緩徐に静注・点滴 [副]造血器障害、腎障害、肝障害 [相][注]CYP阻害作用強く併用薬に影響
オメプラゾール注用 20mg 第2選択 339	プロトンポンプ阻害・制酸薬 [適]上部消化管出血	[用]1回20mgを生食等に混合して1日2回点滴静注 [副]造血器障害、腎不全 [注]配合変化あり。使用後ルートを生食でフラッシュする [相]CYP2C19,3A4で代謝

17・その他の消化器官用薬

プリンペラン注 10mg/2mL 58	D ₂ 遮断・制吐薬 [適]悪心・嘔吐・食欲不振	[用]1回10mgを1日1~2回筋注・静注 [注]アルカリ性薬との配合禁忌 [禁]褐色細胞腫、消化管出血・閉塞 [副]悪性症候群、錐体外路症状、痙攣
------------------------	--	---

8-3・強心剤(昇圧剤)、19-1・副腎ホルモ剤(昇圧剤) 交感神経系薬

ドパミン塩酸塩点滴静注液600mgキット200mL (イノパン注) 1429	急性循環不全改善剤 ドパミン [適]急性循環不全(ショック)	[用]1~5μg/kg/分 点滴静注(20μg/kg/分まで) [禁]褐色細胞腫 [副]麻痺性イレウス、末梢虚血、頻脈 [注]アレビアチンと配合変化 [特]低用量(<4γ)では利尿効果、高用量では血管収縮作用もあり
ノルアドリナリン注 1mg/1mL 94	血圧上昇剤 [適]急性低血圧ショック時	[用]皮下注:1回0.1~1mg、持続注:3mgを47mL生食に溶解→0.05~0.3γ(別表参照) [注]アレビアチン、インスリン、メロン、ソル・コチア/マルコート、カンレノ酸Kで配合変化 [特]α ₁ ・血圧上昇メイン
ボスミン注 1mg/1mL 94	アドレナリン [適]気管支痙攣、心停止時 急性低血圧ショック時	[用]1回 0.2~1mgを皮下注・筋注 [特]ショック時の昇圧薬として使用 蘇生時:1回0.25mgを超えない量を生食で希釈し緩徐に静注 [禁]眼圧上昇要因、抗精神病薬、動脈硬化症、糖尿病、重症不整脈
エピペン注射液 0.3mg 10203	アドレナリン(キット製剤) [適]アナフィラキシー時	[用]1キットを筋注 [注]処方医はe-ラーニング受講等が必要 [禁]ボスミンと同じ
エホチール注 10mg/mL 59	α ₁ 刺激薬・エチレプリン [適]低血圧時の昇圧	[用]1回2~10mgを皮下or筋注or静注 [禁]心室性頻拍 [副]心悸亢進、胸内苦悶、徐脈、呼吸困難、頭痛、不眠
ネオシネジンコーワ注 1mg/mL 59	α ₁ 刺激薬・フェニレプリン [適]低血圧時の昇圧、血管収縮	[用]1回2~5mgを皮下or筋注 [特]エホチールに比べβ刺激少なく、発作性上室頻拍にも可 [副]頭痛、手足しびれ・震え、発疹、胸内苦悶、呼吸困難、心悸亢進、徐脈、悪心、発汗

18・脳下垂体ホルモン剤

採用なし

19-2・副腎ホルモン剤(ステロイド)

ソル・コーテフ注射用 100mg 264	ヒドロコルチゾンコハク酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患	[用]1回50~100mgを1日1~4回静注・点滴・筋注(緊急時:1回100~200mg) [禁]全身感染症、急性心筋梗塞、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症
ソル・メドロール注 125mg 605	メチルプレドニゾンコハク酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患 (大量投与でパルス療法)	[用]①感染性ショック:1回1000mg、②気管支喘息:40~125mgを緩徐に静注・点滴 [禁]全身感染症、腎機能低下、急性心筋梗塞 [相]CYP3A4代謝、蛋白結合高い [副]易感染性、骨粗鬆症、消化管障害、白・緑内障、血栓症、糖尿病、精神変調
デキササート注射液 1.65mg/0.5mL (デカドロン、オルガドロン) 108	デキサメタゾンリン酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患	[用]①静注筋注:1回0.5~2mL 間隔、②関節腔注:1回0.2~1.25mL [禁]感染症のある部位、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症、急性心筋梗塞 [副]易感染性、糖尿病、消化性潰瘍、精神変調、骨粗鬆症、血栓症 [特]リン酸エステル型なのでNSAIDs喘息症例にも使いやすい。疼痛緩和でも使われる
ケナコルトA筋注 40mg/1mL 785	トリアムシノロンアセトニド [適]各免疫疾患、炎症性疾患 (長時間作用に注意)	[用]①筋注:1回20~80mgを1~2週間隔、②関節腔注:1回2~40mgを2週間隔以上 [禁]感染症のある部位、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症、急性心筋梗塞 [副]易感染性、糖尿病、消化性潰瘍、精神変調、骨粗鬆症、血栓症

20-1・インスリン製剤

ハイリスク群

ヒューマリンR注バイアル 10mL(1000単位)=2390	レギュラーインスリン [適]糖尿病	[用]1回4~20→4~100単位を毎食前に皮下注、糖尿病昏睡には持続静脈内注入
ヒューマログ注ミリオベン 1キット(300単位)=1184	超速効型インスリン [適]糖尿病	[用]1回2~20→4~100単位/dayを毎食直前に皮下注 [特]超速効型インスリンアナログ 食後の血糖値を下げる [注]食後低血糖に注意
ランタス注ソロスター 1キット(300単位)=1189	持効型インスリン [適]糖尿病	[用]1日1回4~20→4~80単位を皮下注(朝or寝る前) [特]持続型インスリンアナログ製剤ではほぼ24時間均一→基礎インスリンとして使用

20-2・その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)

リュープリンSR注射用キット 22.5mg 66947	黄体形成ホルモン放出ホルモン誘導 [用]前立腺癌、閉経前乳癌	[用]24週に1回皮下投与 [副]ほてり、間質性肺炎、性欲減退、肝障害、塞栓症
エナルモンデポー筋注 125mg 692	テストステロン(男性ホルモン製剤) [用]男子性腺機能不全など	[用]①男子性腺機能不全:1回100mgを7~10日毎or1回250mgを2~4週毎。 ②男子不妊症:1回50~250mgを2~4週毎。③再生不良性/腎性貧血:1回100~250mgを1~2週 [禁]前立腺癌、妊婦 [副]内分泌異常、脱毛、肝障害 [相]ワルファンの効果増強

21・ビタミン剤

パントシン注10% 200mg 59	パンテチン製剤 [適]パントテン酸欠乏or代謝障害	[用]1日20~100mgを1~2回に分けて皮下注・筋注・静注 [副]消化器症状 [特]脂質異常、術後腸管麻痺、湿疹に用いられる(術後腸管麻痺は1日200mg)
メチコバール注 500 μg/1mL 98	ビタミンB ₁₂ 製剤 [適]末梢性神経障害・貧血	[用]1日1回500 μgを週3回筋注・静注→維持量:1~3ヶ月に1回500 μg
マキサカルシトール静注透析用 5 μg (オキサロール注) 275	活性化型ビタミンD製剤 [適]二次性副甲状腺機能亢進症	[用]透析終了直前に2.5~10 μgを週3回透析回路静脈側に注入。 [副]高Ca、発疹、不穏・興奮、食欲不振、肝機能異常、高P [相]ジゴキシン(高Caで作用増強) [特]VD製剤だが、小腸と骨に対しては活性は低い。PTH抑制効果が大きい。

22・混合ビタミン剤

シーパラ注 2mL 57	VB ₁ ,B ₂ ,B ₃ ,B ₅ ,B ₆ ,C製剤 [適]上記ビタミンの補充	[用]1日2~10mLを1~3回に分割して皮下・筋注・静注 [禁]血友病患者 [相]レボドパの作用減弱、尿検査で尿糖の検出を妨害 [特]VB ₁ を10mg、VB ₂ を1mg、VB ₃ を20mg、VB ₅ を2mg、VB ₆ を2mg、VCを50mg配合
-----------------	--	--

23・カルシウム剤

カルチコール注射液8.5%/5mL 84	カルシウム剤 [適]低Ca血症	[用]4.7~23.5mLを1日1回静脈内に緩徐に注射。 [特]高K時の心保護にも使用される Ca=1.95mEq/5mL [禁]ジゴキシン投与、腎結石、重篤腎不全、高Ca、[副]結石症、悪心、食欲不振
-------------------------	--------------------	---

24・無機質製剤

フェジン鉄静注 40mg 127	鉄剤 [適]鉄欠乏性貧血	[用]1日40~120mgを2分以上かけて静注 [注]生食と混ぜない(5%ブドウ糖を使用) [禁]重篤な肝障害、鉄欠乏でない患者 [副]ショック
ミネラミック注 (エレメンミック注) 94	輸液用微量元素 [適]微量元素の補充	[用]1日2mLをTPNに添加 [特]Fe,Mn,Zn,Cu,Iを含む微量元素製剤 [禁]胆道閉塞
アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット ハイリスク薬 181	アスパラギン酸K [適]Kの補整	[用]輸液等で希釈(濃度40mEq/L以下、速度20mEq/h以下で) [注]必ず希釈して使用する。絶対に直接静注しない!

25・糖類剤

50%ブドウ糖液 20mL (大塚糖液50%) 99	糖液	[用]低血糖時投与。点滴静注する時は0.5g/kg/時以下の速度で [副]血清カリウム低下
ブドウ糖注5% 20mL 66	糖液	
大塚糖液5% (プラボトル)100mL=151 (バッグ)250mL=284 (バッグ)500mL=332	糖液	[用]脱水時の水分補給:5%液を500~1000mL静注 [禁]低張性脱水症

26・たんぱく質アミノ酸製剤 (PPN、TPN)

ビーフリード輸液 500mL 539	糖・電解質アミノ酸輸液 +ビタミンB ₁	[用]1回500mLを末梢静脈点滴(500mL/2h)(1日最高2500mL) [禁]肝性昏睡、重篤な腎障害、高K ⁺ ・P・Mg・乳酸・窒素、甲状腺低下、乏尿、うつ血性心不全
キドミン輸液 200mL 429	腎性アミノ酸輸液	[用]PPN:1日1回200~400mL、TPN:1日400~800mLを緩徐に点滴 [禁]肝性昏睡、高アンモニア血症 [注]利用効率を高めるには十分な糖質補給が必要
ヒカリレバン輸液 200mL (アミノレバン) 394	肝不全用アミノ酸製剤 (慢性肝障害時の肝性脳症)	[用]1回500~1000mLを点滴静注(180~300分/500mLの速度で) [禁]重篤な腎障害、[副]低血糖、高アンモニア血症 [特]肝性脳症改善のためBCAAを増。[注]利用効率を高めるには十分な糖質補給が必要
フルカリック1号輸液 903mL 1158	TPN輸液	[用]各1~2キットを24時間かけて中心静脈に点滴(TPN) [禁]血友病、高Na ⁺ ・K ⁺ ・Cl ⁻ ・P・Ca ²⁺ ・Mg ²⁺ ・窒素・乳酸、肝性昏睡、重篤な腎障害 [注]アシドーシス→十分なVB ₁ 補充を。VKを含むのでワルファリンの作用が減弱
フルカリック2号輸液 1003mL=1198、1504.5mL=1612		
ハイカリックRF輸液 500mL 481	TPN輸液基本液 (腎不全用糖質・電解質のみ)	[用]腎不全用糖質・電解質として、アミノ酸製剤+ビタミンB ₁ を添加して投与。 [禁]高Na ⁺ ・Cl ⁻ ・Mg ²⁺ ・Ca ²⁺ ・乳酸、肝性昏睡 [注]アシドーシス予防→VB ₁ 添加を

48・その他の滋養強壯薬 (脂肪乳剤)

イントラリポス輸液20% 100mL 817	脂肪乳剤	[用]1日100~250mLを点滴静注(250mL/3h以上で)(最高脂肪として2g/kg) [禁]血栓症、重篤な肝障害・血液障害 [副]静脈塞栓、ワルファリンの効果を減弱
---------------------------	------	---

27・血液代用剤(輸液・電解質)

ソルデム1輸液 (ソリタ1号) 200mL=139、500mL=177	1号開始液	[特]1L中にNa ⁺ =90mEq含有するため、細胞内外に水分を補充できる開始液。 K ⁺ は含まない。ブドウ糖濃度2.6%。
ソルデム3A輸液 (ソリタT3号) 200mL=173、500mL=176	3号維持液	[特]維持液。1LにNa ⁺ 、Cl ⁻ =35mEq含有し、K ⁺ =20mEq含有されているので 腎機能低下例は注意する。ブドウ糖濃度=4.3%。
ソルデム3PG輸液 500mL (EL3号) 225	10%糖・P付加3号輸液	[禁]高乳酸・窒素・K ⁺ ・P、低Ca [特]Pを含み、ブドウ糖濃度の高い製剤 1LにNa ⁺ =40、K ⁺ =35、Cl ⁻ =40mEq、P=8mmol、ブドウ糖濃度=10% [注]腎障害
ラクテックG輸液 500mL 228	乳酸リンゲル液 (キシリトール添加)	[用]1回500~1000mL点滴(10mL/kg/hの速度) [禁]高乳酸血症 [特]糖質(キシリトール)が添加されており、500mLで100kcal
生食注 10mLシリンジ(ロク) 100	生理食塩液	
生食 20mL 62		
生理食塩液 50mL 143		
生食 100mL 145		
大塚生食 細口開栓用・点滴用 500mL=236		
大塚食塩注 10% 20mL 97	10%NaCl [適]Naの補整	[用][注]直接静注しない→必ず希釈して使用

28・止血剤

アドナ静注用 50mg/10mL 89	血管強化薬 [適]止血	[用]1回25~100mLを静注・点滴 [特]血管増強薬であり、血小板・凝固系には影響を与えない
トランサミン注10% 1g/10mL 100	抗プラスミン薬 [適]止血、蕁麻疹、口内炎	[用]1日量250~500mgを1日1~2回に分けて静注・筋注、必要に応じ500~2500mg
ケイツーN静注 10mg/2mL 62	ビタミンK [適]ビタミンK欠乏、止血	[用]1回10~20mg(最大40mg) [注]遮光保存、他剤との配合は避ける [特]止血ビタミン。ワルファリンの効果を拮抗して作用する

29・血液凝固阻止剤

ヘパフラッシュ10単位/mLシリンジ5mL 131	ヘパリン製剤 [適]静脈内留置ルート内血液凝固防止	[禁]出血、重篤な肝・腎疾患
ヘパリンNa透析用250単位/mL・20mL 255	ヘパリン製剤 [適]血液透析時の血液凝固防止	[用]WBAPTTが正常値の2~3倍になるように調整 [禁]出血、重篤な肝疾患 [副]ショック、出血、ヘパリン起因性血小板減少症、塞栓症
ダルテパリンNa静注5千U20mLシリンジ 728	ヘパリン製剤 [適]血液透析時の抗凝固、DIC	[用]①抗凝固:出血傾向に応じ開始時10~20U/kg、開始後7.5~10U/kg/h持続注。 ②DIC:75U/kgを24時間持続投与。[禁][副]ヘパリンNa透析用と同じ
ヘパリンNa注N5000単位/5mL 165	ヘパリン製剤 [適]DIC、血栓塞栓症	[用]①皮下注:1回5千単位を4時間毎、②間欠静注:1回5千~1万単位4~8時間毎 ③点滴静注:1~3万単位を生食等で1000mLに希釈、WBAPTT確認 [禁][副]ヘパリンNa透析用と同じ [相]抗血栓薬、テロサイクリン、ジゴキシンと併用で作用↓

30・人工腎臓透析用剤

キンダリー透析剤4E 1873	透析用灌流液	用法・用量、成分の詳細は添付文書参照
カーポスター透析剤L(6L) 2597	人工腎臓用透析液	用法・用量、成分の詳細は添付文書参照

31・肝臓疾患用剤

アミファーゲンP注 20mL (強カネオミノファーゲンシー) 57	肝臓疾患・アレルギー薬 [適]皮膚炎、肝機能改善	[用]①皮膚炎:5~20mL、②肝疾患:40~60mLを1日1回静注 [禁]アルドステロン症、ミオパチー、低K血症 [副]偽アルドステロン症、電解質
---	-----------------------------	---

32・解毒剤

炭酸水素Na静注7%20mL (メイロン注) 96	炭酸水素ナトリウム [適]アシドーシス、めまい	[用]①アシドーシス→添付文書参照 ②薬物中毒・めまい:1回1~5g静注 [注]アルカリ性であり配合変化起こしやすい。TPN製剤、Ca含有製剤とは混合しない
デトキソール注射液 2g/20mL 412	チオ硫酸ナトリウム [適]シアン・ヒ素中毒	[用]1日1~2g静注(シアン中毒には1回12.5~25g)。 [注]ヒドロキシコバラミンと同時投与不可。[特]食道内視鏡のヨード染色のヨード分解で使用。

33・他に分類されない代謝性医薬品

ダルベポエチンアルファ注射液 (ネスプ注射液フラスコ) 10μg=867、20μg=1523、30μg=2201 40μg=2651、60μg=3860、120μg=6969	ダルベポエチンα製剤 [適]腎性貧血	[用]初回:30μgを2週に1回、維持:2週に1回or用量を4週に1回、皮下注or静注 [副]心筋・肺・脳梗塞(血液粘張度増)、肝障害、血圧上昇 [特]赤血球増強因子製剤
ミルセラ注シリンジ 25μg=4462 50μg=7611	エポエチンβベゴル製剤 [適]腎性貧血	[用]初回:50μg(血液透析)、25μg(その他)を2週に1回。維持:25~250μgを4週に1回。 [副]心筋・肺・脳梗塞(血液粘張度増)、肝障害、血圧上昇、脳出血 [特]長時間持続型の赤血球増強因子製剤。[注]鉄欠乏時は鉄剤を併用する。
ナファモスタット注射液 50mg (注射用フサン) 650	タンパク分解酵素阻害剤 [適]透析時抗凝固、DIC、急性膵炎	[用]①透析時抗凝固:開始前20mg+生食500mL、開始後20~50mg/h+5%ブドウ糖で持続注。 ②DIC:5%ブドウ糖1000mL+0.06~0.20mg/kg/hを24時間持続注。 ③急性膵炎:10mg+5%ブドウ糖500mLを1日1~2回(2hかけて投与)。 [副]出血、ショック、高K、低Na、肝障害 [特]出血傾向を有する患者の血液透析に使用
ガベキサートメシル酸 100mg (注射用エフオーワイ) 179	タンパク分解酵素阻害剤 [適]急性膵炎、DIC	[用]①急性膵炎:1回100mgを全量500mLにし、8mL/分以内で点滴静注 ②:DIC:1日20~39mg/kgの範囲内で24時間かけて静脈持続投与 [副]注射部位壊死、高K [特]トリプシンやトロンビン等の蛋白分解酵素を阻害
ウロナーゼ静注用6万単位 4700	線維素溶解酵素剤 [適]脳血栓症、末梢動脈閉塞	[用]生食or5%糖液に溶解し、1回6万単位を7日間静注(末梢動脈閉塞には最大24万単位) [禁]止血処置困難、脳塞栓疑い [副]出血増強、肝障害、消化器症状、ゼラチンアレルギー注意
レボカルニチンFF静注1000mgシリンジ (エルカルチンFF静注1000mgシリンジ) 384	カルニチン製剤 [適]カルニチン欠乏症	[用]1回50mg/kgを3~6時間毎緩徐に静注。透析時は10~20mg/kgを終了時に回路静脈側に [副]消化器症状、発疹、低血糖(糖尿病薬併用時)
パーサピブ静注透析用 5mg 1061	カルシウム受容体作動薬 [適]二次性副甲状腺機能亢進症	[用]1回5mg開始、2.5~15mgで使用。週3回透析終了後回路静脈側に注入 [副]低Ca、心不全、QT延長 [相]Caを低下させる骨粗鬆症治療薬 [特]カルシウム受容体を介してPTH分泌を抑制→Caを低下させる
アレンドロン酸点滴静注バッグ900μg (ボナロン点滴静注用) 1182	ビスフォスフォネート製剤 [適]骨粗鬆症	[用]4週に1回、30分以上かけて点滴静脈内投与(1バッグ100mL) [禁]低Ca患者 [副]Ca・Mg低下、顎骨壊死、非定型骨折、胃腸障害、肝障害、発疹 [特]骨密度上昇効果あり。内服で起床時坐位が取れない患者でも使用可。
ボンビバ静注1mgシリンジ 第2選択 3476	ビスフォスフォネート製剤 [適]骨粗鬆症	[用]1カ月に1回、緩徐に静脈内投与。[禁]低Ca患者 [副]Ca・Mg低下、顎骨壊死、非定型骨折、背部・筋肉・関節痛、胃腸障害、発疹 [特]骨密度上昇効果あり。内服で起床時坐位が取れない患者でも使用可。

34・抗ヒスタミン剤

ポララミン注 5mg/1mL 69	抗ヒスタミン薬 [適]蕁麻疹、アレルギー	[用]1日1回 5mg皮下or筋注or静注 [禁]閉塞隅角緑内障、前立腺肥大(抗コリン作用のため) [副]眠気、血液障害
----------------------	-------------------------	---

36・主としてグラム陰性菌に作用する抗生剤 (アミノグリコシド系)

アミカシン硫酸塩注 100mg 350	アミノグリコシド系	[用]1日100~200mgを1日1~2回筋注・点滴 [副]腎障害、聴力障害 [相]ペニシリン・セフェム系との混合で作用減 [注]血中濃度測定可
------------------------	-----------	---

37・主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤 (βラクタム系、カルバペネム系、ホスホマイシン系)

ピペラシリンNa注射用 2g (ペントシリン注) 579	広範囲ペニシリン	[用]1日2~4gを1日2~4回で静注・筋注・点滴(最大8g) [副]腎障害、造血器障害、肝障害 [特]緑膿菌にも有効域があるペニシリン
スルバシリン静注 1.5g (ユナシンS静注) 597	β-ラクタマーゼ阻害配合ペニシリン	[用]①肺炎:1日6g、②膀胱炎:1日3gを1日2回静注点滴 [副]腎障害、造血器障害、肝障害
セファゾリンナトリウム注射用 1g (セファメジンα注) 346	第1世代セフェム系	[用]1日1gを1日2回緩徐に静注・筋注・点滴(1日5gまで) [副]肝障害、腎不全、間質性肺炎 [相]利尿薬(腎障害増強) [注]髄液には移行しない
セフトリアキソンNa静注 1g (ロセフィン静注) 422	第3世代セフェム系	[用]1日1~2gを1~2回に分けて静注・点滴(最大1日4g) [副]肝障害、結石、造血器障害 [特]半減期長<1日1回の投与も可。肺炎球菌OK。腎排泄50%で腎機能影響少。
ワイスタール配合静注用 1g (スルペラゾン静注) 313	第3世代セフェム系 (β-ラクタマーゼ配合セフォペラゾン)	[用]1日1~2gを2回に分けて静注(1日最大4g) [副]肝障害、造血器障害 [相]利尿薬(腎障害増強) [特]主薬のセフォペラゾンは腎排泄25%で腎への影響が少なく、胆汁移行性良好
メロペネム点滴静注用 0.25g (メロペン点滴静注) 560	カルバペネム系	[用]1日0.5g~1gを2~3回に分けて30分以上かけて点滴(1日最大2g) [禁]バルプロ酸→効果減弱 [副]急性腎不全、肝障害、造血器障害、下痢
ホスミンS静注用 1g 587	ホスホマイシン系	[用]1日2~4gを2回に分けて点滴・静注 [副]造血器障害、肝障害、消化器症状 [注]14.5mEq/gのNa+を含有→心・腎不全、高血圧症注意(5%ブドウ糖液で溶解する)

38・主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチケア、クラミジアに作用する抗生剤（ミノマイシン系）

ミノサイクリン点滴静注用 100mg 219	テトラサイクリン系	[用]初回100~200mg→12~24時間毎に100mgを30分~2時間かけて点滴 [副]造血器障害、肝・腎障害、消化器症状
---------------------------	-----------	--

35・主としてグラム陽性菌に作用する抗生剤（バンコマイシン、リンコマイシン）

バンコマイシン点滴静注 0.5g 754	抗MRSA薬 [適]MRSA	[用]1回0.5gを12時間毎 or 1回1gを24時間毎に1h以上かけ点滴（高齢者） [注]血中濃度確認 [副]腎・肝障害、造血器障害、聴覚障害、消化器症状
クリンダマイシンリン酸エステル注 300mg （ダラシンS注） 404	リンコマイシン系	[用]1日600~1200mgを2~4回に分けて筋注・点滴（最大2400mg） [禁]エリスロマイシン併用 [副]造血器障害、肝障害、腎障害

39・合成抗菌剤（ニューキノロン系）

採用無し

40・主としてカビに作用するもの

採用無し

41・抗ウイルス剤

アシクロビル注 250mg （点滴静注用ゾピラックス） 417	抗ウイルス薬 [適]ヘルペス、帯状疱疹	[用]1回5mg/kgを1日3回7日間静注（8時間ごとに1h以上かけて）（1日最高10mg/kg） [副]造血器障害、急性腎不全、精神症状、肝障害
ラピアクタ点滴静注用300mg/60mL 6331	抗インフルエンザ薬 [適]A,B型インフルエンザ	[用]1回300mgを15分以上かけて単回点滴静注。[注]腎機能、重症度に合わせ増減。 [副]発疹・ショック、胃腸障害、肝障害、白血球減少

42・ワクチン類

インフルエンザHAワクチン 1mL/1V 薬価なし	インフルエンザワクチン	[用]0.5mLを1回（or 1~4週間後に2回目）を皮下注 [禁]明らかな発熱、重篤な急性疾患 [副]アナフィラキシー、痙攣、肝障害
ニューモバックスNPシリンジ 0.5mL 4735	肺炎球菌ワクチン	[用]1回0.5mLを筋注・皮下注 [禁]インフルエンザワクチンと同じ 放射線・免疫療法中 [副]アナフィラキシー、血小板減少、頭痛
ヘプタバックス-II 水性懸濁注シリンジ 0.5mL 2460	B型肝炎ワクチン	[用]①B型肝炎予防：0.5mLずつ4週間隔で2回+20~24週間後0.5mL皮下注・筋注 ②汚染事故後感染予防：0.5mLを皮下注・筋注+0.5mLずつ1ヵ月後、3~6ヵ月後
エイムゲン 薬価なし	A型肝炎ワクチン	[用]添付の溶剤0.65mLで溶解し、0.5mLずつを2~4週間隔で2回、筋肉内又は皮下に接種 更に初回接種後24週を経過した後に0.5mLを追加接種。
麻しん風しんワクチン（ミールピック） 薬価なし	麻しん風しん混合ワクチン	[用]本剤を添付の溶剤0.7mLで溶解し、その0.5mLを1回皮下注射。 [禁]免疫機能異常・免疫抑制薬、妊婦 [副]アナフィラキシー [注]生ワクチン（接種間隔注意）
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 薬価なし	おたふくかぜワクチン	[用]本剤を添付の溶剤0.7mLで溶解し、その0.5mLを1回皮下注射。 [禁]免疫機能異常・免疫抑制薬、妊婦 [副]アナフィラキシー [注]生ワクチン（接種間隔注意）
破トキ 0.5mL 1063	破傷風トキソイド	[用]破傷風予防・初回免疫：1回0.5mLを2回（3~8週間隔）、筋注・皮下注 [禁]インフルエンザワクチンと同じ [副]アナフィラキシー

43・その他の生物学的製剤

アルブミン25%静注50mL 4436	アルブミン血液製剤 <特定生物>	[用]1回20~50mLを緩徐に静注・点滴（1mL/分以下の速度で） 投与必要量(mL)=Alb期待上昇濃度(g/dL)×体重(kg)×4
ヘプスブリンIH静注1000単位 35976	抗HBs抗体 <特定生物>	[用]血液汚染事故後B肝発症予防（48時間or7日以内）：1回1000~2000単位 生食などに溶解し緩徐に静注 [副]過敏症、腎障害
精製ツベルクリン一般診断用 2735	結核診断薬	[用]0.5μg相当量/mL溶液を作り、0.1mLを皮内注、48時間後に判定 [禁]副腎皮質ホルモンと併用

44・溶解剤

注射用水 20mL 62	注射用水	
注射用水バッグ 1L 316		
注射用水 細口開栓用 500mL 216		

45・X線造影剤

オムニパーク300注シリンジ100mL 3802	非イオン性尿路・血管造影剤	[禁]ヨード過敏症、重篤な甲状腺疾患 [副]腎不全、痙攣、肝障害、意識障害 [注]メホルミン併用（腎機能悪化→乳酸アシドーシス）
-----------------------------	---------------	---

46・機能検査用試薬

インジゴカルミン注 20mg/5mL 245	腎機能検査用薬	[用]20~40mgを静注 [特]上部消化管検査（内視鏡）の色素染色にも使用される
---------------------------	---------	--

47-1・あへんアルカロイド系麻薬（麻）

モルヒネ塩酸塩注 10mg/1mL 305	オピオイド（モルヒネ） [適]癌性、慢性疼痛	[用]①1回5~10mgを皮下注、②1回50~200mgを持続点滴 [禁]重篤な呼吸抑制、喘息発作、重篤な肝障害、痙攣 [副]呼吸抑制
--------------------------	---------------------------	--

47-2・あへんアルカロイド系非麻薬

ソセゴン注 15mg （=ペンタジン） 89	オピオイド（ペンタジン） [適]術後疼痛、麻酔前投薬	[用]①鎮痛：1回15mgを筋注・皮下注、必要に応じて3~4時間ごとに反復 ②麻酔前投薬：30~60mgを筋注、皮下注、静注 [禁]頭部障害、重篤な呼吸抑制 [副]呼吸抑制、依存性、嘔吐、傾眠
------------------------------	-------------------------------	--

1・催眠鎮静剤・抗不安剤

ダイアップ坐剤10 70.3	抗けいれん剤 [適]けいれん発作の改善	[用]1回0.4～0.5mg/kgを1日1～2回(心不全、肝腎障害、衰弱患者では用量注意) [禁]閉塞隅角緑内障 [相]シメチジン、オメプラゾール、フルボキサミンで作用増強 [副]鎮静、筋弛緩、呼吸抑制、興奮(脱抑制)、肝障害、消化器症状
-------------------	------------------------	---

2・解熱鎮痛消炎剤

アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg (アンヒバ坐薬) 20.3	解熱鎮痛薬 アセトアミノフェン [適]解熱・鎮痛	[用]直腸内に投与(投与間隔は4～6時間) [禁]肝障害・腎障害 [副]喘息発作・肝障害 [特]マイルドで安全性は高い
ジクロフェナクNa坐剤 25mg (ボルタレンサボ) 20.3	NSAIDs [適]鎮痛・消炎、解熱	[用]1回25～50mgを1日1～2回直腸に挿入 [禁]消化管潰瘍、重度腎・肝障害 [注]高齢者は過度の体温下降・血圧低下によるショック症状に注意 [副]消化管出血、肝・腎・造血器障害、喘息、痙攣 [特]鎮痛効果は大きい
ノルスパンテープ 5mg 1579.1	非麻薬性オピオイド部分作動薬 ブプレノルフィン [適]慢性疼痛(変形性関節症・腰痛)	[用]7日ごとに貼り替え。初回5mg、最大20mg。※処方医eラーニング受講要 [禁]重篤な呼吸抑制状態 [相]CYP3A4代謝 [注]癌性疼痛適応なし [副]呼吸抑制、悪心・嘔吐、便秘、傾眠、頭痛・めまい、依存症

3・局所麻酔剤

キシロカインゼリー2% 30mL 1本=189	粘滑・表面麻酔剤 [適]表面麻酔	[用]尿道麻酔(男子200～300、女子60～100mg)、気管内挿管には適量 経鼻内視鏡検査前処置で使用
キシロカインポンプスプレー8%(80g) 1g=27.7	表面麻酔剤 [適]表面麻酔	[用]8～40mg(1～5回の噴霧)を使用
リドカインテープ 18mg (ペンステープ) 47.6	表面麻酔剤 [適]穿刺前の表面麻酔	[用]局所麻酔剤 1回1枚静脈留置針穿刺予定部位に約30分貼付 [相]CYP1A・CYP3A代謝 [副]ショック、発赤、刺激感、色素沈着、皮膚剥離

4・眼科用剤

アズレン点眼液0.02% 1本5mL=88.8	抗炎症目薬 [適]結膜炎、角膜炎	[用]1日3～5回点眼 [特]軽い炎症に。
チモロール点眼液0.25% (チモプーラ点眼液) 1本5mL=234.5	緑内障治療薬 β遮断 [適]緑内障	[用]1日2回点眼 [特]眼水産生抑制 [禁]気管支喘息、重篤なCOPD、重篤な心疾患
ピレノキシリン懸濁性点眼液0.005% (カタリンK) 1本5mL=64.9	白内障進行抑制薬 [適]白内障	[用]1日3～5回点眼
ヒアルロン酸Na点眼0.1% (ヒアレイン点眼) 1本5mL=94.5	角膜保護薬 [適]角結膜上皮障害、ドライアイ	[用]1日5～6回点眼
オフロキサシン点眼液0.3% (タリビット点眼液) 1本5mL=366	ニューキノロン系抗生剤 [適]結膜炎、角膜炎(細菌性)	[用]1日3回点眼
ブラプロフェン点眼液0.1% (ニフラン点眼液) 1本5mL=134.5	非ステロイド性抗炎症薬 [適]結膜炎、角膜炎(非細菌性)	[用]1日4回点眼
エコリシン眼軟膏 1本3.5g=221.9	抗生剤眼軟膏 [適]結膜炎、角膜炎(細菌性)	[用]1日数回点眼 [特]エリスロマイシン+コリスチンの合剤
ネオメドロールEE軟膏 1本3g=136.5	抗生剤+ステロイド眼・外耳用 [適]眼・外耳の細菌感染を伴う炎症	[用]適量を1日1～数回点眼or塗布 [禁]角膜や鼓膜穿孔ある場合 [副]難聴、緑内障、フラジオマイシン非感受性菌感染症、ステロイド副作用

5・耳鼻科用剤

タリビット耳科用液0.3% 5mL 1本=556	抗生剤点耳液 [適]外耳炎、中耳炎(細菌性)	[用]1回6～10滴点耳し約10分間の耳浴を1日2回
ブリピナ液0.05% 1mL=4	点鼻用局所血管収縮剤 [適]上気道の充血・うっ血、鼻閉 上気道粘膜の局麻剤の効力延長	[用]鼻腔内:1回2～4滴、咽喉頭:1回1～2mL。 [注]過度の使用による薬剤性鼻炎に注意

6・血圧降下剤

ビソナテープ4mg 60.1	β1遮断貼付薬 [適]本態性高血圧、心房細動	[用]1日1回4mg(最大8mg、心房細動は最小2mg) [禁]非代償性心不全、重度末梢循環障害 [副]徐脈、低血圧、気管支喘息、皮膚炎 [相]血糖降下薬の作用増強、Ca拮抗薬・ジゴキシンの作用増強
-------------------	---------------------------	---

7・血管拡張剤

硝酸イソソルビドテープ40mg (フランドルテープ) 23.5	狭心症血管拡張テープ [適]狭心症、虚血性心疾患	[用]1日1回1枚 or 2日で1枚を貼付 [禁]重篤な低血圧、心原性ショック、脳出血、閉塞隅角緑内障
---------------------------------------	-----------------------------	--

8・去痰剤

ブロムヘキシリン塩酸塩吸入液0.2% 45mL=265.5	去痰吸入薬 [適]去痰	[用]生食で約2.5倍に希釈しネブライザーで吸入。1回4mgを1日3回(増減) [注]アレバールとの混合で白濁する
----------------------------------	----------------	--

10・含嗽剤

採用なし

9・気管支拡張剤

アレベール吸入用溶解液 0.125% 100mL=520	吸入用呼吸器薬の溶解剤	[用]1～5mLに呼吸器用薬を用時混合し噴霧吸入 [注]アロムヘキシンと混濁 [禁]人工呼吸器の呼吸回路吸気側にフィルタを装着し 超音波式ネブライザーを使用中の場合
ベネトリン吸入液0.5% 30mL=516	β ₂ 刺激・気管支拡張薬 [適]気管支喘息、COPD	[用]1回1.5～2.5mgを深呼吸しながら吸入
ツロブテロールテープ 2mg (ホクナリンテープ) 23.3	β ₂ 刺激・気管支拡張薬 [適]気管支喘息、COPD	[用]1日1回2mg貼付 [副]重篤なカリウム低下、アナフィラキシー

11・その他の呼吸器用薬

スピリーバ2.5μgレスピマツ(60吸入) 3320.4	抗コリン気管支収縮抑制剤 [適]COPD	[用]1回2吸入を1日1回 [禁]緑内障、前立腺肥大 [副]心不全、心房細動、イレウス [特]抗コリン型は肺気腫に有効
バルミコート吸入液0.25mg 117.3	ステロイド吸入薬(吸入液) [適]気管支喘息	[用]1日1mgを1日1～2回(最大2mg)。 [禁]呼吸器感染症 [相]CYP3A代謝
キューバル100エアゾール 1944.9	ステロイド吸入薬(噴霧型) [適]気管支喘息	[用]1回100μgを1日2回。[特]噴霧型ステロイド吸入薬。 [禁]呼吸器感染症、[副]肝障害、高血圧 (1瓶で100回使用可)
ブデホル吸入粉末剤60吸入 (シムビコートタービューヘイラー) 1599.1	ステロイド+β ₂ 吸入薬 (ドライパウダー型) [適]気管支喘息、COPD	[用]1回1吸入を1日2回(気管支喘息:発作時頓用追加可(最高1回4吸入1日2回迄)) [副]低K、不整脈、血圧上昇、口腔カンジダ、感染、高血糖、悪心、頭痛、振戦、発疹 [相]CYP3A代謝

12・下痢、浣腸剤

グリセリン浣腸液50% 60mL 131.7	グリセリン浣腸 [適]便秘	[用]1回10～150mLを直腸内注入 [禁]腸管内出血、腹腔内炎症
新レシカルボン坐剤 70.9	炭酸ガス型便秘用坐薬 [適]便秘	[用]1～2個をできるだけ肛門内に深く挿入 [注]冷所保存 [特]炭酸ガスで直腸を刺激

13・その他の消化器用薬

サリベートエアゾール (50g) 406.1	人工唾液 [適]口腔乾燥(シェーグレン症候群など)	[用]1回1～2秒間、1日4～5回口腔内に噴霧 [特]即効的に口腔乾燥を解消できるが、持続性は低い
デスパコーワ口腔用クリーム 5g 1本=136.5	口内炎・歯周炎治療剤 [適]口内炎、歯周炎	[用]1日3～4回口腔内の炎症部分に塗る [禁]口腔内に結核・ウイルス性・化膿性の感染症

14・生殖器用剤(性病予防剤を含む)

フラジール膣錠 250mg 54.3	メロニダゾール膣錠 [適]細菌性、トリコモナス膣炎	[用]1日1回250mgを膣内に挿入(細菌性7～10日、トリコモナス10～14日) [副]局所搔痒感 [特]嫌気性菌に有効
-----------------------	------------------------------	--

15・痔疾用剤

ボラザG坐剤 35.6	痔核局所治療剤 [適]内痔核	[用]1回1個を1日2回肛門内に挿入(軟膏剤は塗布も可能) [特]非ステロイド性の痔疾患治療薬
ヘモポリゾン軟膏(2g) (強カポステリザン軟膏) 1本=20.4	痔核局所治療剤 大腸菌死菌+ヒドロコルチゾン [適]内痔核・裂肛、肛門周囲皮膚炎	[用]1日1～3回適量を塗布or注入 [禁]局所に感染症がある場合 [副]連用により緑内障・後囊白内障、皮膚刺激感、感染症、副腎抑制

16・外皮用殺菌消毒剤

イソプロパノール消毒B液70% 5L=2500	アルコール性消毒薬	[用]手指・皮膚の消毒、医療用具の消毒 [禁]損傷皮膚、粘膜への使用 [注]エタノールに比べると、脱脂作用・吸入毒性が強い
----------------------------	-----------	--

17・化膿性疾患用剤

ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%(10g) (ゲンタシン軟膏) 1本=110	抗生剤軟膏(アミノグリコシド) [適]表在性皮膚感染症、膿皮症、 びらん・潰瘍の二次感染	[用]1日1～数回 [副]発疹、長期使用で腎障害 [注]アレルギー感作注意、長期使用しない
バラマイシン軟膏 1g=7.6	化膿性皮膚疾患薬 [適]皮膚感染症	[用]1日1～数回塗布 [副]長期使用で腎障害、難聴 [特]バシトラシンとフラジオマイシンの合剤で抗菌スペクトルは広い
ゲーベンクリーム 100g=1280	外用感染治療剤 [適]びらん・潰瘍の二次感染、褥瘡	[用]1日1回塗布 [特]サルファ剤で抗菌作用。乾燥した創に向く。 [禁]軽症熱傷 [副]全身に吸収される→汎血球減少、間質性腎炎
硫酸ポリミキシンB散50万単位 349.9	コリスチン系薬剤 [適]創傷、膀胱炎、結膜炎	[用]1本を5～500mLに溶解し、注入・散布・膀胱内洗浄 [特]他剤無効の耐性菌に使用。[注]適応は局所のみ(内服・注射×) [副]難聴、呼吸麻痺、腎障害

19・寄生性皮膚疾患用剤(水虫薬)

ビホナゾールクリーム(10g) (マイコスポールクリーム) 1本=109	抗真菌剤(アゾール系) [適]白癬(水虫)、カンジダ	[用]1日1回塗布 [副]皮膚炎
テルビナフィン塩酸塩外用液1%(10g) (ラミシール外用液) 1本=99	抗真菌剤(アリルアミン系) [適]白癬(水虫)、カンジダ	[用]1日1回塗布 [副]皮膚炎
テルビナフィン塩酸塩クリーム1%(10g) (ラミシールクリーム) 1本=99		

24・軟膏基剤

白色ワセリン 1g=2.43		
-------------------	--	--

18・鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤

アズノール軟膏0.033% (20g) 1本=106	炎症性皮膚疾患治療剤 [適]湿疹、びらん・潰瘍	[用]1日数回 [特]褥瘡、皮膚潰瘍治療薬。口内に塗布する場合もある。
亜鉛華軟膏 (500g) 1g=2.08	収斂・消炎・保護剤 [適]消炎、びらん・潰瘍治療	[用]1日1～数回 [禁]重度または広範囲の熱傷
オイラックスクリーム (10g) 1本=58.1	鎮痒剤 [適]湿疹、蕁麻疹、皮膚そう痒症	[用]1日数回 皮膚搔痒症に使用 疥癬にも有効 [注]熱感が生じることがある [特]成分:クロタミド
オイラックスHクリーム (5g) 1本=72	鎮痒剤+ステロイド(Mild)	[用]1日1～数回 [禁]皮膚感染、2度以上の熱傷・凍傷
レスタミンコーワクリーム1% 1g=2.32	アレルギー性疾患治療剤 [適]蕁麻疹 湿疹、虫刺され	[用]1日数回塗布or塗擦 [副]過敏症
リンデロンV軟膏 (5g) 1本=93	ステロイド(Strong)軟膏	[用]1日1～数回 [特]Strongステロイドの単剤(抗生剤非配合) [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷
デキサンVG軟膏 (5g) (リンデロンVG軟膏) 1本=138.5	ステロイド(Strong)+抗生剤	[用]1日1～数回 [特]抗生剤はゲンタマイシン配合 [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷
デルモゾールDPローション (10mL) (リンデロンDPローション) 1本=84	ステロイド軟膏(Very Strong)	[用]1日1～数回 [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷
ジフルブレドナート0.05%軟膏(5g) (マイザー軟膏) 1本=65	ステロイド軟膏(Very Strong)	[用]1日1～数回 [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷
クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏(5g) (デルモベート軟膏) 1本=37.5	ステロイド軟膏(Strongest)	[用]1日1～数回 [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷 [注]最強ランクのステロイド。短期間使用、症状改善→ランクを落とす
MS冷シップ (1枚20g) 5枚=86	冷感シップ薬 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日1～2回
ヤクバンテープ40 (10cm×14cm) 1枚=17.1	消炎鎮痛湿布薬 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日2回貼付 [禁]アスピリン喘息 [副]喘息発作
スチックゼノールA(40g) 1本=153.6	外用鎮痛・消炎固形軟膏 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日1～数回患部に塗擦

20・皮膚軟化剤(腐食剤を含む)

へパリン類似物質油性クリーム0.3% (ヒルドイドソフト軟膏) 1g=3.2	血行促進・皮膚保湿剤 [適]皮脂欠乏症、ケロイド、血行障害	[用]1日1～数回塗擦orガーゼにのぼして貼付 [禁]出血性血液疾患 [副]過敏症、紫斑
ウレパールクリーム10% (20g) 1本=82	角化症治療剤(10%尿素) [適]アトピー皮膚、老人性乾皮症	[用]1日1～数回 角化症、乾癬にも使用 [注]傷があると刺激感出ることがある

21・その他の外皮用薬

アクトシン軟膏3%(30g) 1本=1560	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 [適]褥瘡、皮膚潰瘍	[用]潰瘍面を清拭後、1日1～2回ガーゼ等に延ばし貼付又は患部に直接塗布 [副]疼痛、発赤、刺激 [特]過剰な滲出液を吸収し肉芽形成促進 [注]10℃以下保存
オルセノン軟膏0.25%(30g) 1本=1209	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 [適]褥瘡、皮膚潰瘍	[用]潰瘍面を清拭後、1日1～2回ガーゼ等に延ばし貼付又は患部に直接塗布 [副]発赤、刺激感、感染 [特]創面に水分を与え肉芽形成促進
スクロードパスタ (100g) (ユーパスタ) 1g=9.7	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 ポピドンヨード+白糖	[用]潰瘍面を清拭後1日1～2回ガーゼに伸ばして貼付 [注]ポピドンヨード含有(ヨウ素過敏症は×) [特]感染徴候のある滲出液が多い創に向く
ブロメライン軟膏5万単位/g(20g/本) 1本=354	壊死組織除去剤 [適]壊死組織の分解、除去	[用]ガーゼ、リント等に適量に伸ばし塗布。1日1回交換 [注]潰瘍辺縁になるべく触れないように塗布。肉芽が出たら中止 [特]蛋白分解酵素により壊死組織を除去 [副]出血、疼痛

22・止血剤

トロンビン液1万単位 ソフトボトル 1293	止血剤(外用) [適]止血	[用]①出血局所:本剤をそのまま噴霧・灌注・撒布する。 ②上部消化管出血:適当な緩衝剤(牛乳など可)で希釈(200～400単位/mL)たものを経口投与。 [注]血管内には注入しない!→血液凝固が起こる [禁]トランサミン併用
---------------------------	------------------	--

23・抗ウイルス剤

ビダラビン軟膏3% (5g) (アラセナ軟膏) 1本=385.5	抗ウイルス薬 [適]带状疱疹、単純疱疹	[用]1日1～4回患部に塗布(単純疱疹・带状疱疹に) [副]皮膚炎
--	------------------------	--------------------------------------

25・あへんアルカロイド系麻薬 (麻)

デュロテップMTパッチ 2.1mg,4.2mg 2.1mg=1649.6、4.2mg=2868.4	オピオイド麻薬貼付剤 フェンタニル [適]癌性疼痛、慢性疼痛	[用]3日毎(約72時間)に貼り替え。モルヒネ製剤からの切り替えで使用 [副]呼吸抑制、痙攣、便秘、嘔気、傾眠 [相]CYP3A4で代謝 [注]温度が上昇すると吸収量が増加する
アンペック坐剤 10mg 320.1	オピオイド麻薬坐剤 モルヒネ [適]癌性疼痛	[用]1日20～120mgを2～4回に分割(初回は10mgが望ましい) [禁]重篤な呼吸抑制、気管支喘息、肝障害 [副]便秘、嘔気、傾眠 [相]CYP3A4で代謝